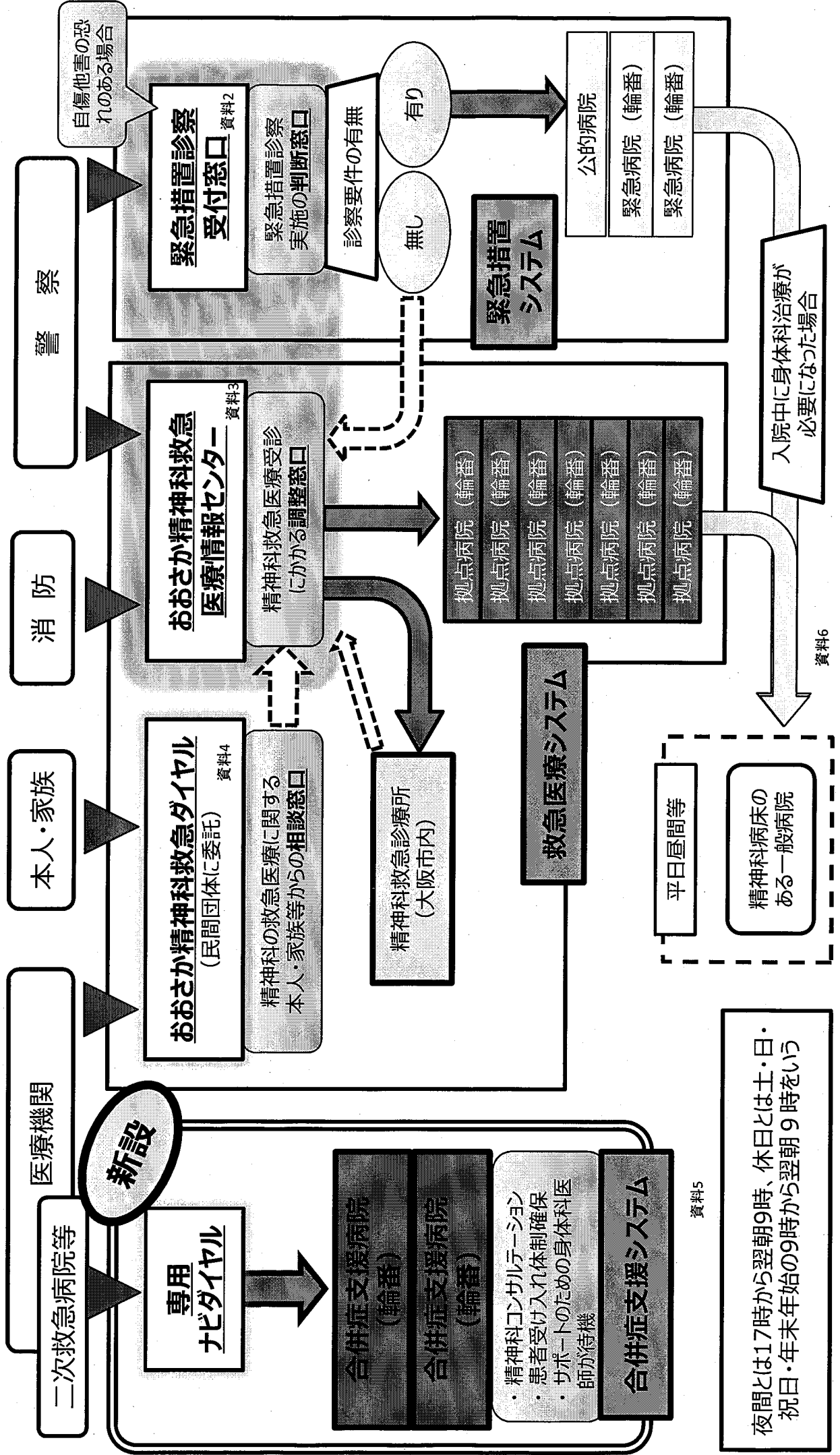


# 大阪府の精神科救急医療システム (概要図)



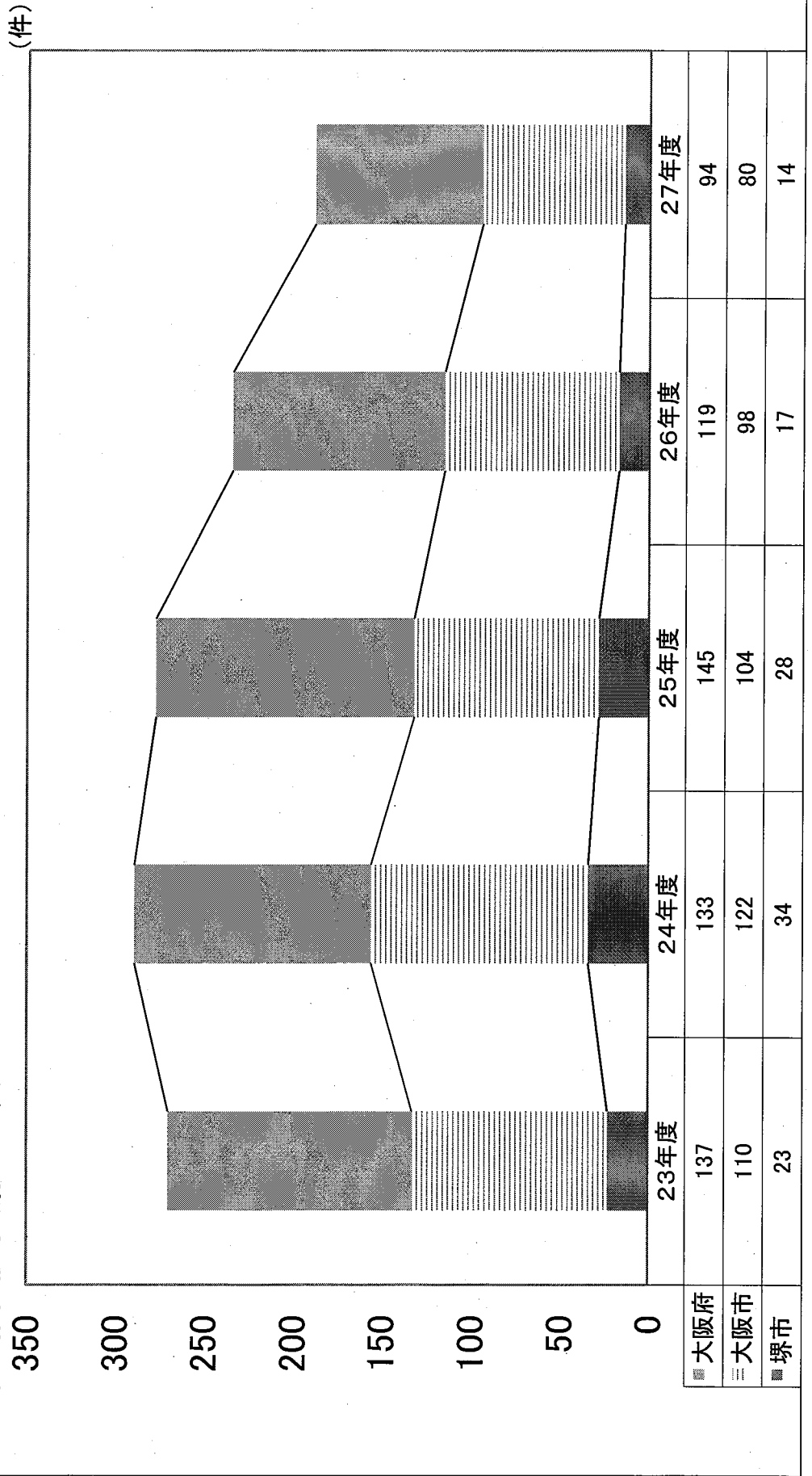
# 【精神科緊急医療の状況について】

資料2

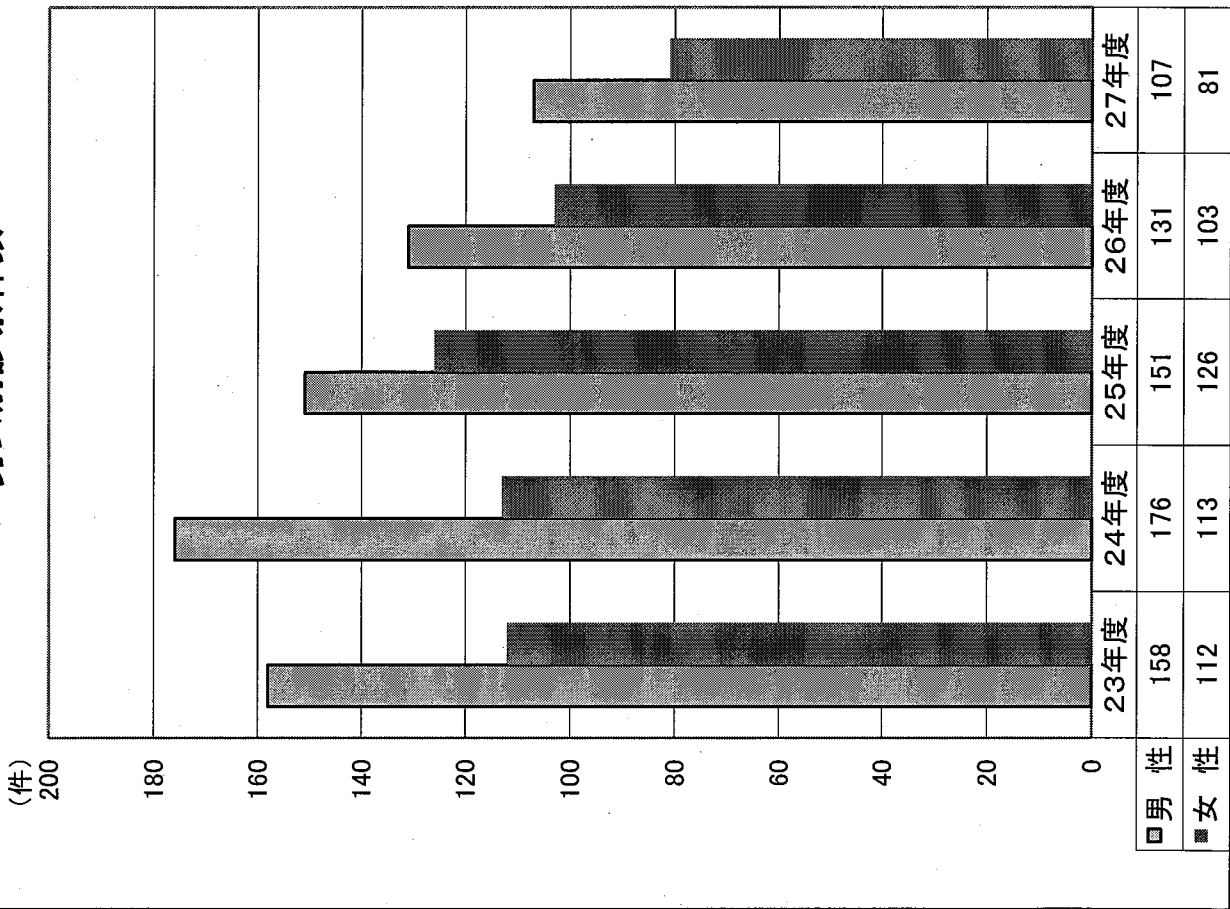
## 2-1. 緊急措置診察実施件数

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
270	289	277	234	188

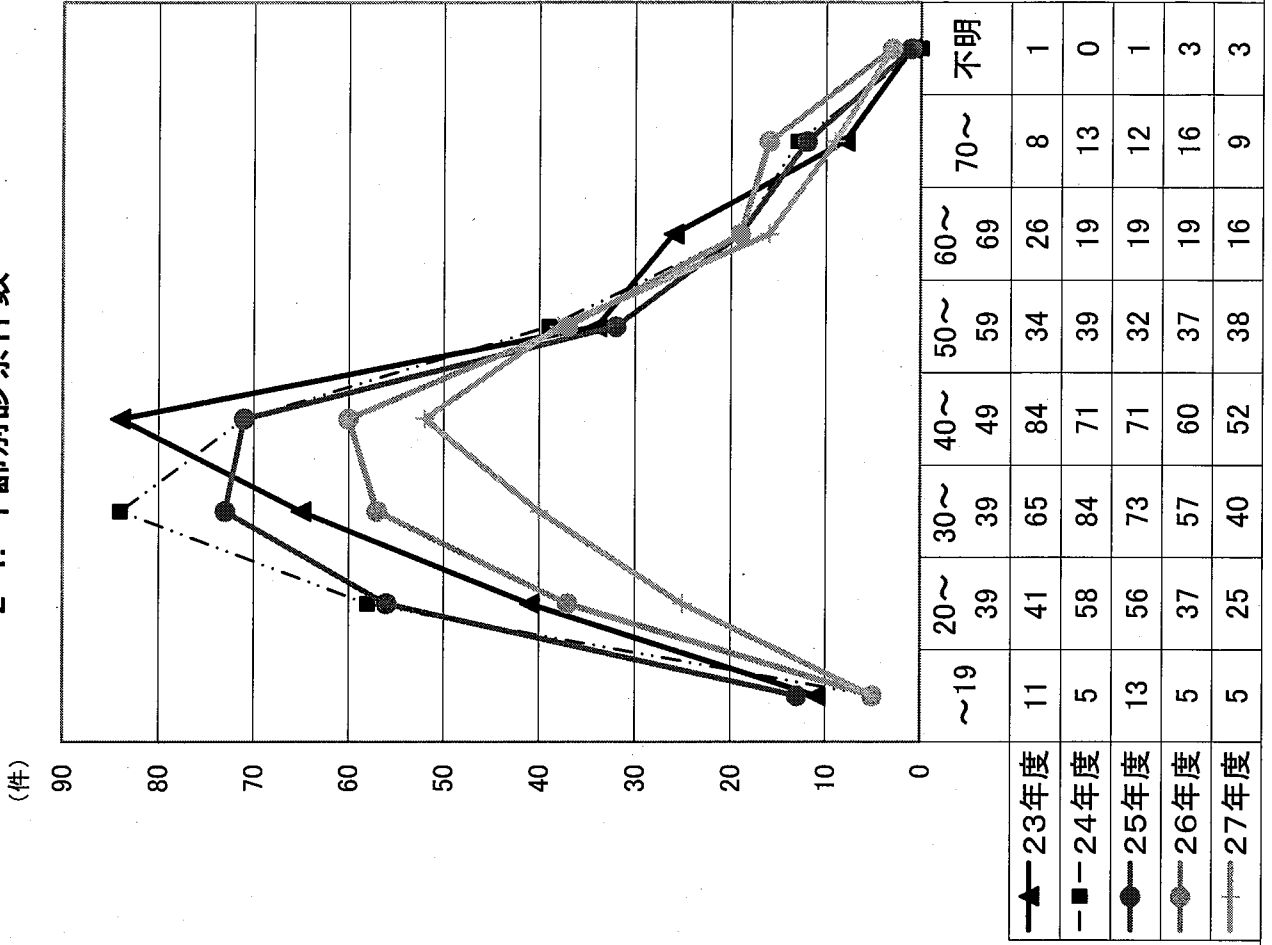
## 2-2. 緊急措置診察(府内全域)



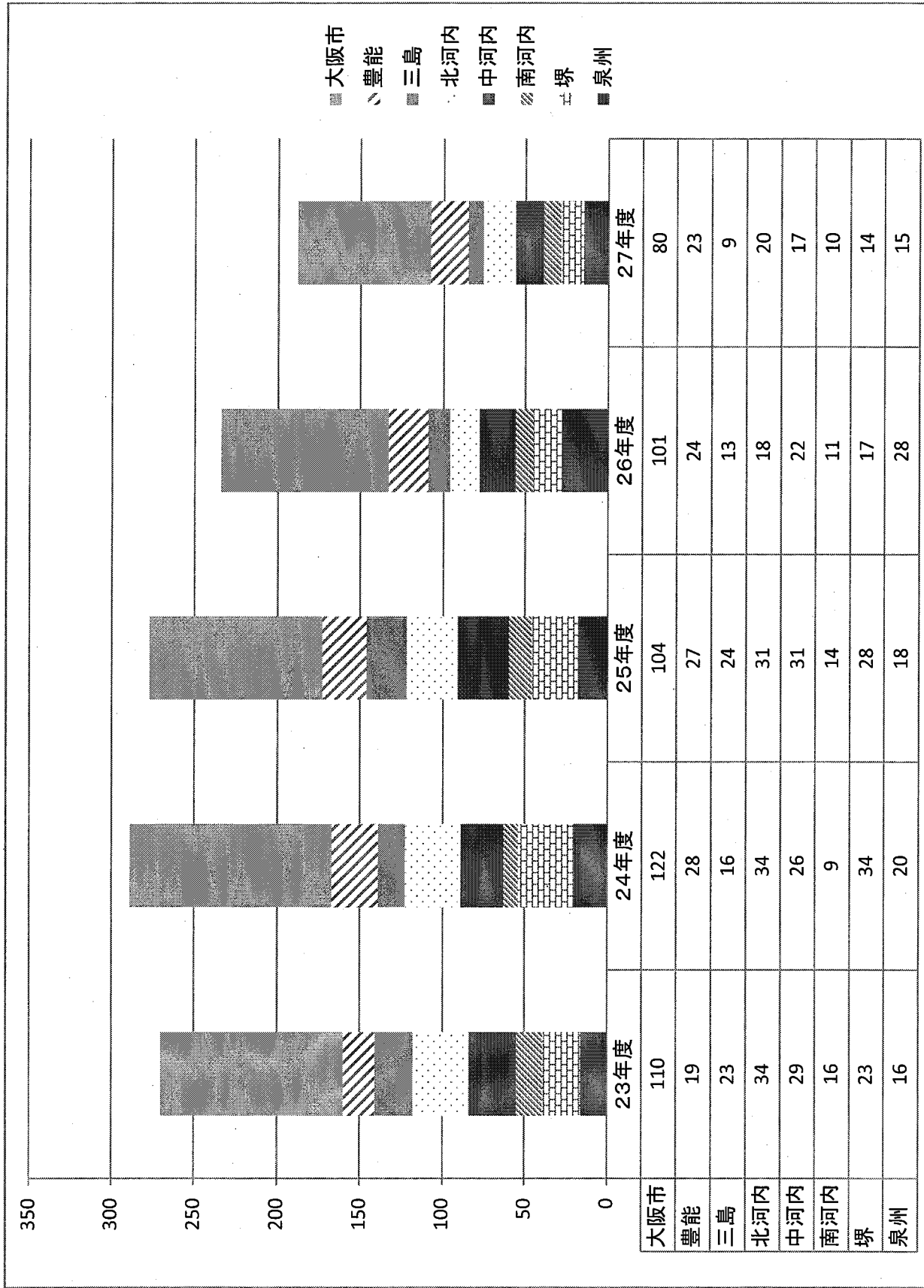
2-3. 男女別診察件数



2-4. 年齢別診察件数



## 2-5. 緊急措置診察地域別発生状況



2-6. 緊急措置診察結果集計(病名・男女別)

(単位:件)

病名等	25年度		26年度		27年度	
	男	女	男	女	男	女
	計	計	計	計	計	計
F0	4	2	2	2	4	6
	3	1	2	1	1	2
	1	1	1	1	3	4
F1	24	9	15	4	12	3
	8	3	5	2	4	0
	9	1	5	1	2	1
F2	33	29	50	21	27	21
	13	17	9	12	6	11
	4	5	0	5	0	1
F3	0	0	0	0	2	0
	2	17	2	9	2	8
	4	4	2	2	3	1
F4	6	5	1	2	1	2
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
F5	2	17	2	9	2	8
	4	4	2	2	4	3
	6	5	1	2	3	2
F6	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
F7	35	17	34	27	34	18
	23	18	13	15	15	9
	0	0	0	0	0	0
F8	3	3	2	4	1	1
	151	126	130	103	107	81
	277	234	277	234	277	188

2-7. 緊急措置診察 平日・休日別通報件数(平成27年度)

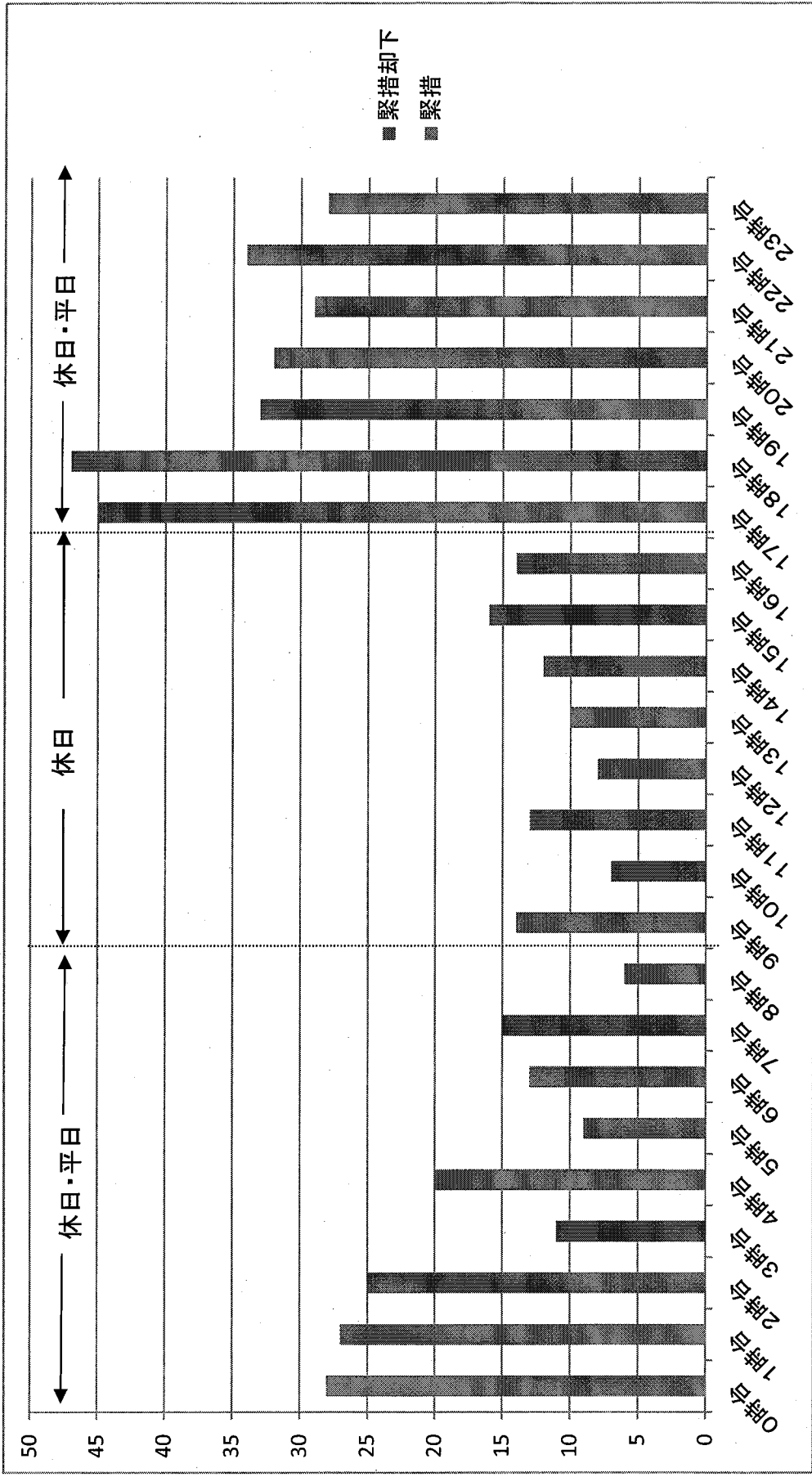
(単位:件)

	日数	総時間		通報時間帯	診察実施 件数	通報却下 等件数	計	
		比率(%)					比率(%)	
平日	244	3,904	57.1%	17:00 ~ 9:00	150	161	311	62.7%
休日	122	2,928	42.9%	9:00 ~ 9:00	38	147	185	37.3%
	366	6,832	100.0%		188	308	496	100.0%

2-8. 緊急措置診察 月別通報件数(平成27年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診察	18	16	19	21	12	14	21	18	17	8	13	11	188
却下	36	33	16	16	18	35	26	21	30	30	28	19	308
合計	54	49	35	37	30	49	47	39	47	38	41	30	496

2-9 平成27年度時間帯別通報件数(通報時間帯及び件数)



2-10. 平成27年度緊急措置診察通報却下等理由別内訳

通報却下理由	所 管			計
	大阪府	大阪市	堺市	
自傷他害性なし	75	70	14	159
自傷他害性・精神症状ともになし	11	8	3	22
自傷他害性なし 精神症状弱い	4	4	1	9
精神症状確認できず	26	17	2	45
通報取り下げ	6	7	6	19
病院承諾得られず	2			2
他科処置必要	1	1		2
飲酒酩酊状態	4	5		9
昼の体制に引き継ぎ		2		2
相談等	13	7	3	23
その他	6	6	4	16
計	148	127	33	308

2-11. 平成27年度緊急措置診察医療機関別診察件数  
(単位:件)

ブロック	医療機関名	所 管			計
		大阪府	大阪市	堺市	
北	光愛病院	0	0	0	0
	さわ病院	18	10	1	29
	小曽根病院	0	0	0	0
東	京阪病院	0	0	0	0
	大阪府立精神医療センター	40	7	0	47
	国分病院	12	5	1	18
	丹比荘病院	0	0	0	0
	ねや川サナトリウム	0	1	0	1
	汐の宮温泉病院	0	0	0	0
	浅香山病院	3	2	1	6
堺	阪南病院	6	5	9	20
	久米田病院	8	0	1	9
南	木島病院	2	1	0	3
	水間病院	0	0	0	0
	こころあ病院	0	0	0	0
	七山病院	3	0	1	4
	大阪市立総合医療センター	2	43	0	45
大阪市	大阪府立急性期・総合医療センター	0	6	0	6
	ほくとクリニック病院	0	0	0	0
	合 計	94	80	14	188



2-12. 緊急措置診察結果

所管	緊急措置該当		非該当入院				非該当通院		非該当医療不要		総計	
	比率(%)		比率(%)	医療保護	応急	任意	比率(%)		比率(%)			
大阪府	80	85.1%	3	2	1	0	11	0	11.7%	0	0.0%	94
大阪市	69	86.3%	1	0	1	0	8	2	10.0%	2	2.5%	80
堺市	13	92.9%	1	1	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	14
総計	162	86.2%	5	3	2	0	19	2	10.1%	2	1.1%	188

2-13. 本鑑定結果

所管	緊急措置該当	本鑑定実施件数		措置該当		非該当入院		非該当通院		非該当医療不要	
		本鑑定	実施率(%)	比率(%)		比率(%)	比率(%)		比率(%)	比率(%)	
大阪府	80	68	85.0%	60	88.2%	6	8.8%	1	1.5%	1	1.5%
大阪市	69	68	98.6%	56	82.4%	7	10.3%	5	7.4%	0	0.0%
堺市	13	11	84.6%	9	81.8%	1	9.1%	1	9.1%	0	0.0%
総計	162	147	90.7%	125	85.0%	14	9.5%	7	4.8%	1	0.7%

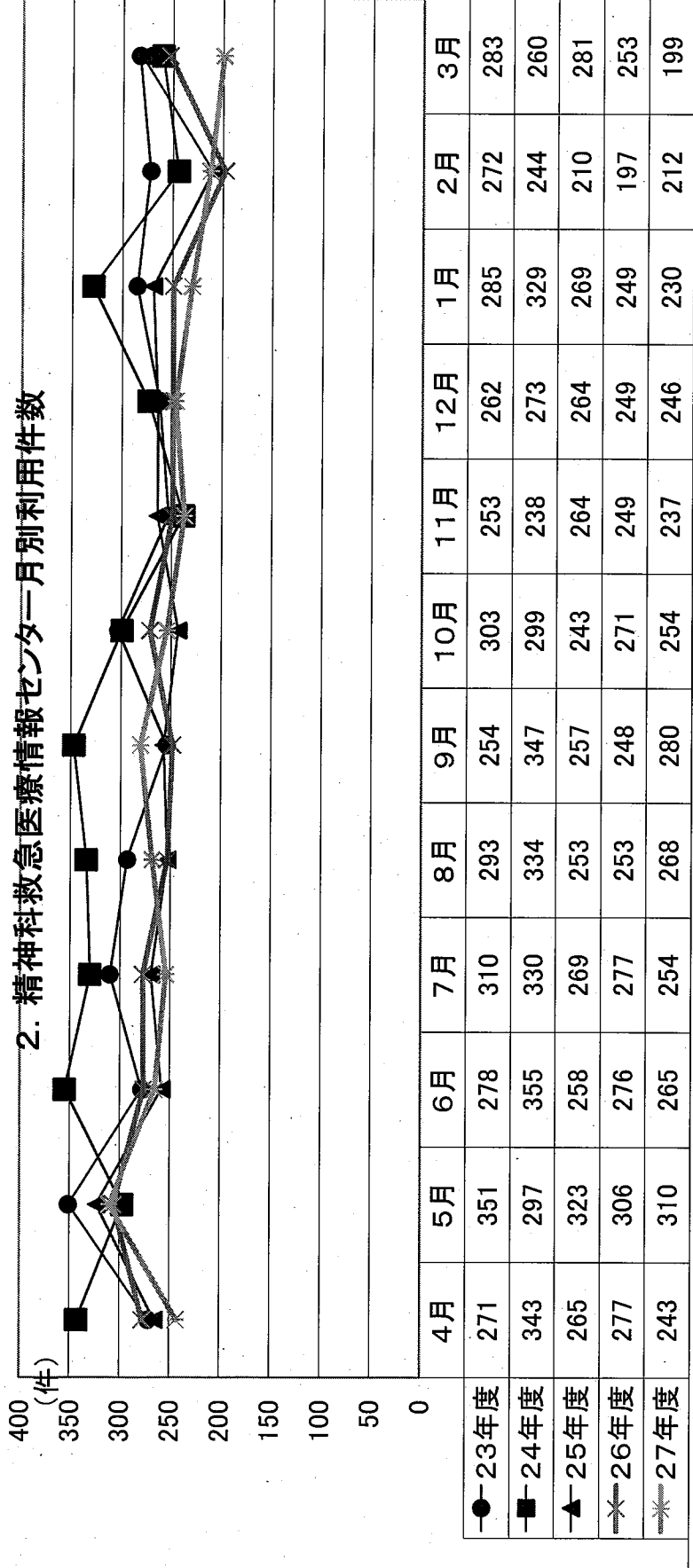
資料3

【精神科救急医療の状況について】

3-1. 精神科救急医療情報センター利用件数

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
3,415	3,649	3,156	3,105	2,998

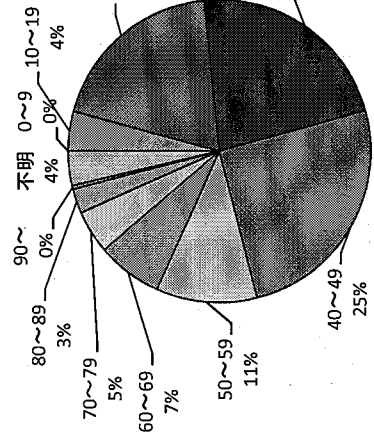
2. 精神科救急医療情報センター月別利用件数



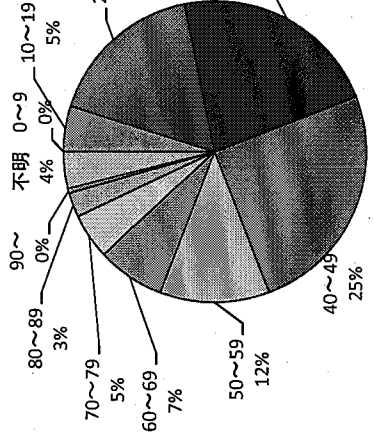
### 3-2. 利用者数年齢および性別

年齢	25年度				26年度				27年度			
	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明	計
				比率(%)				比率(%)				比率(%)
0~9	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
10~19	48	85	0	4.2%	57	94	0	4.9%	49	56	0	3.5%
20~29	251	353	0	19.1%	228	296	0	16.9%	210	283	2	16.5%
30~39	310	391	0	22.2%	305	385	0	22.2%	295	364	0	22.0%
40~49	415	386	0	25.4%	362	419	0	25.2%	410	354	1	25.5%
50~59	173	166	0	10.7%	184	178	0	11.7%	189	153	1	11.4%
60~69	111	109	0	7.0%	130	94	0	7.2%	106	112	0	7.3%
70~79	69	77	0	4.6%	88	64	0	4.9%	81	68	1	5.0%
80~89	41	42	0	2.6%	42	40	0	2.6%	39	49	1	3.0%
90~	5	7	0	0.4%	5	11	0	0.5%	3	9	0	0.4%
不明	52	43	22	3.7%	43	38	42	4.0%	41	49	72	5.4%
計	1,475	1,659	22	100.0%	1,444	1,619	42	100.0%	1,423	1,497	78	100.0%

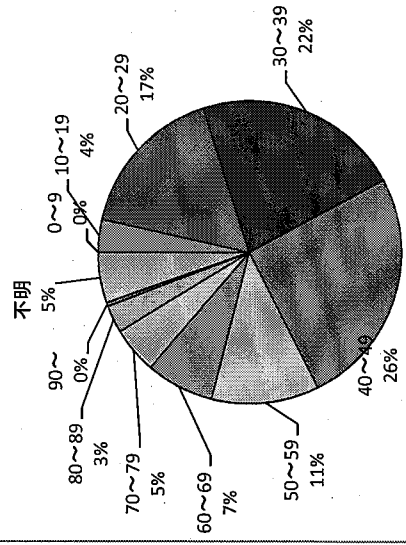
25年度利用者(年齢別)



26年度利用者(年齢別)



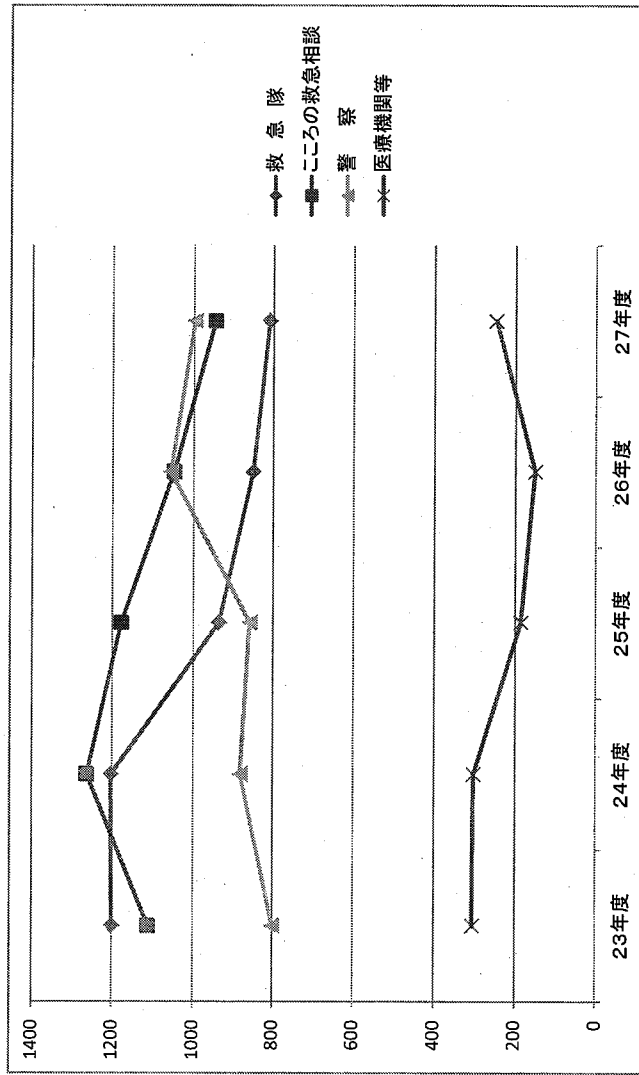
27年度利用者(年齢別)



3-3. 相談経路

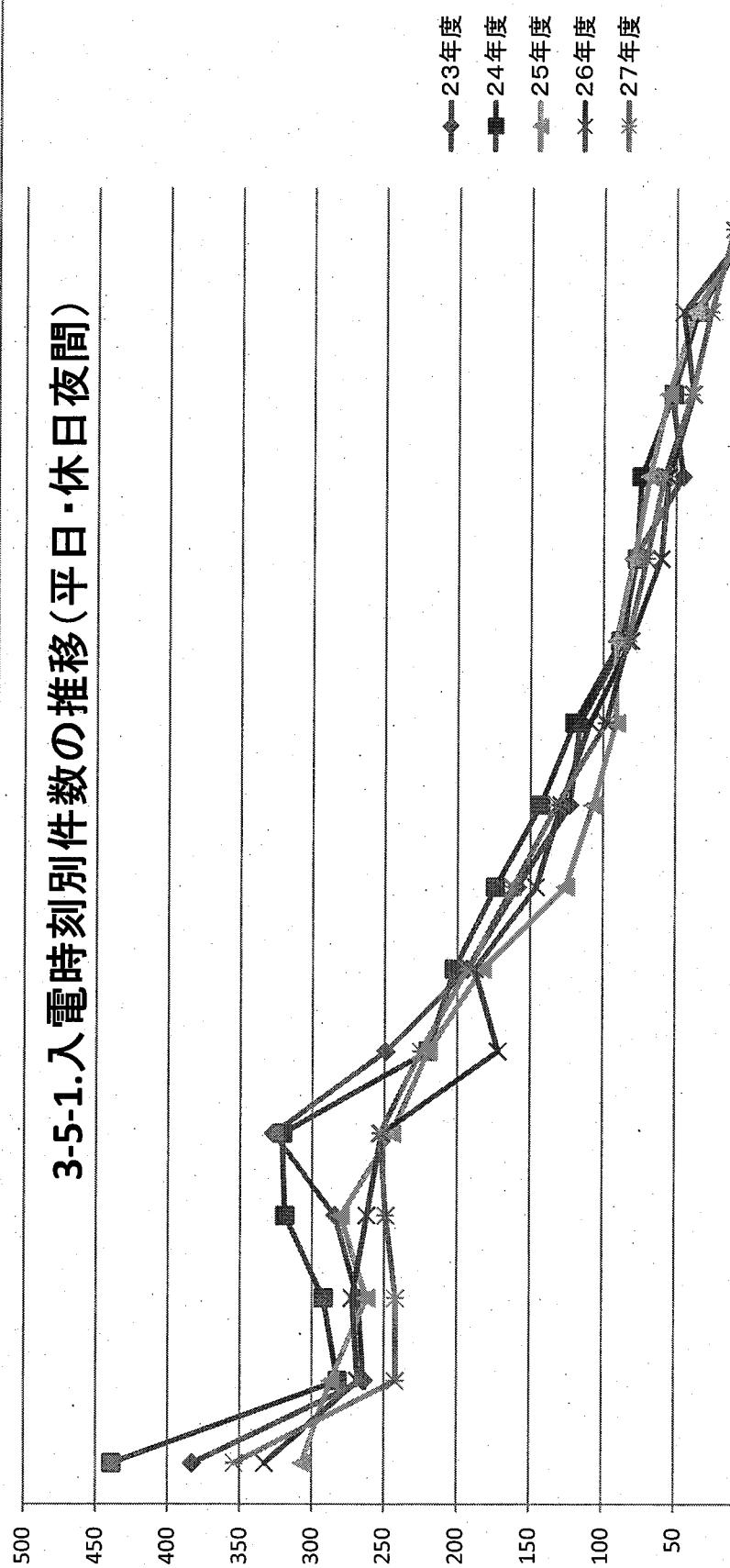
(件)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
救急隊	1,200	1,203	935	850	809
こころの救急相談	1,111	1,263	1,178	1,048	945
警察	800	881	858	1,057	997
医療機関等	304	302	185	150	247
計	3,415	3,649	3,156	3,105	2,998





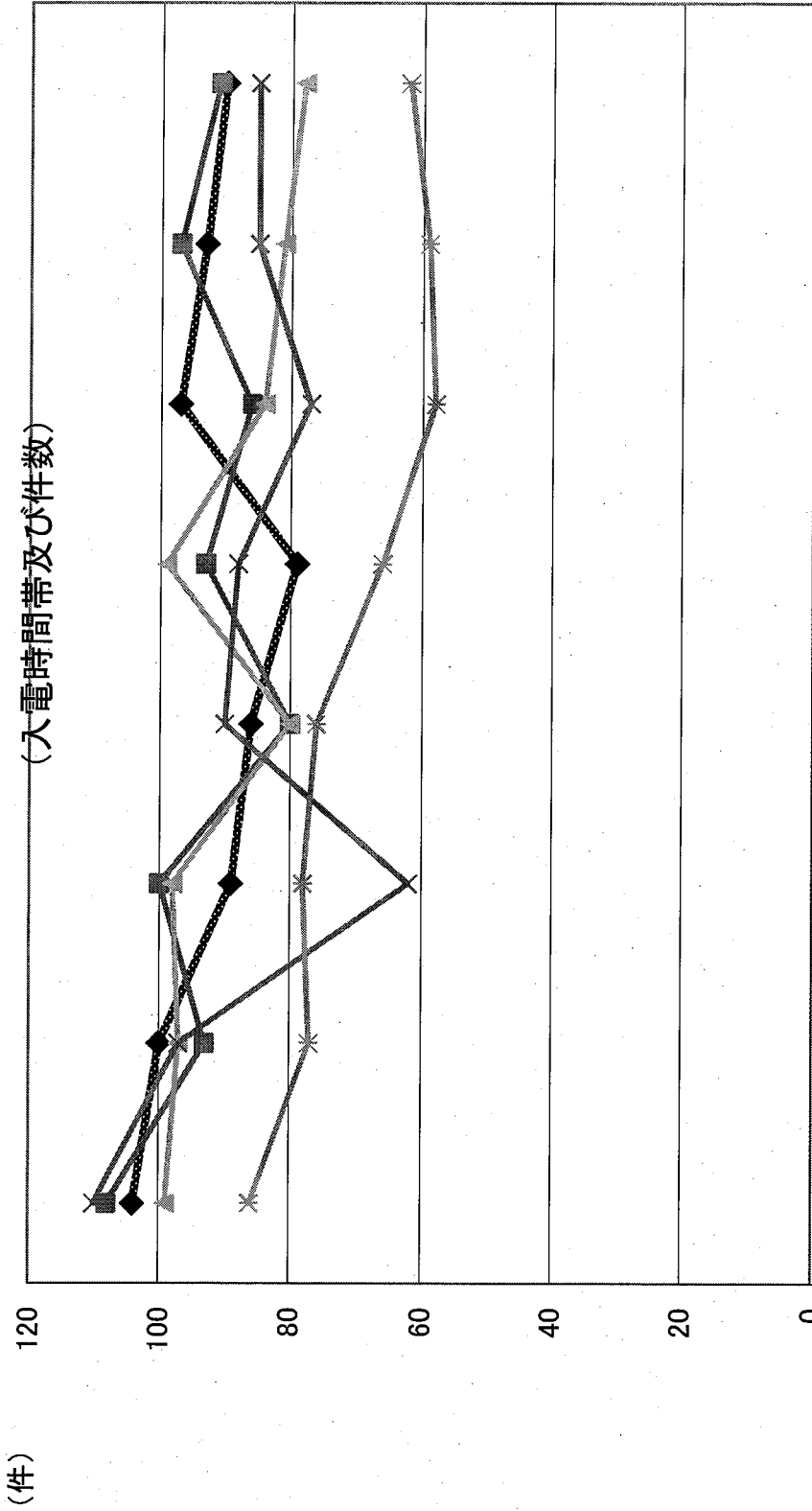
### 3-5-1.入電時刻別件数の推移(平日・休日夜間)



◆23年度  
■24年度  
▲25年度  
×26年度  
※27年度

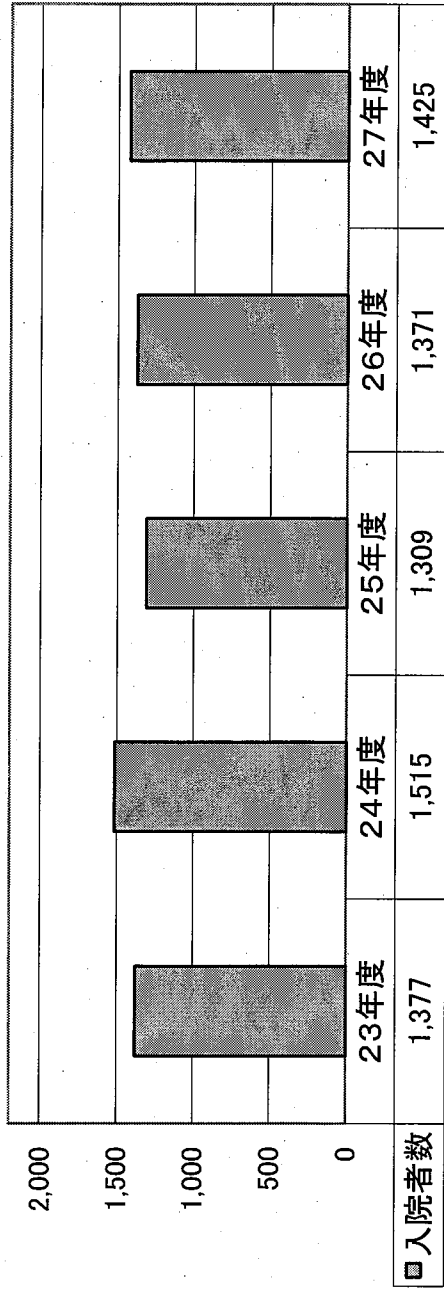
	17:59	18:59	19:59	20:59	21:59	22:59	23:59	0:59	1:59	2:59	3:59	4:59	5:59	6:59	7:59	8:59
23年度	383	264	268	284	327	249	193	159	123	116	86	79	45	53	37	1
24年度	439	282	292	319	321	220	202	174	143	120	88	77	74	52	35	1
25年度	307	287	262	280	245	220	183	126	107	91	91	79	68	55	37	2
26年度	333	268	272	262	252	172	188	146	129	109	81	60	55	38	45	1
27年度	354	242	242	249	253	225	193	162	132	98	83	70	58	39	26	10

### 3-5-2. 入電時刻別件数の推移(休日昼間)



年度	9:59 ~	10:59 ~	11:59 ~	12:59 ~	13:59 ~	14:59 ~	15:59 ~	16:59 ~
23年度	104	100	89	86	79	97	93	90
24年度	108	93	100	80	93	86	97	91
25年度	99	97	98	80	99	84	81	78
26年度	110	97	62	90	88	77	85	85
27年度	86	77	78	76	66	58	59	62

### 3-6. 精神科救急システムにおける入院者数



### 3-7. 医療機関別入院状況(平成27年度)

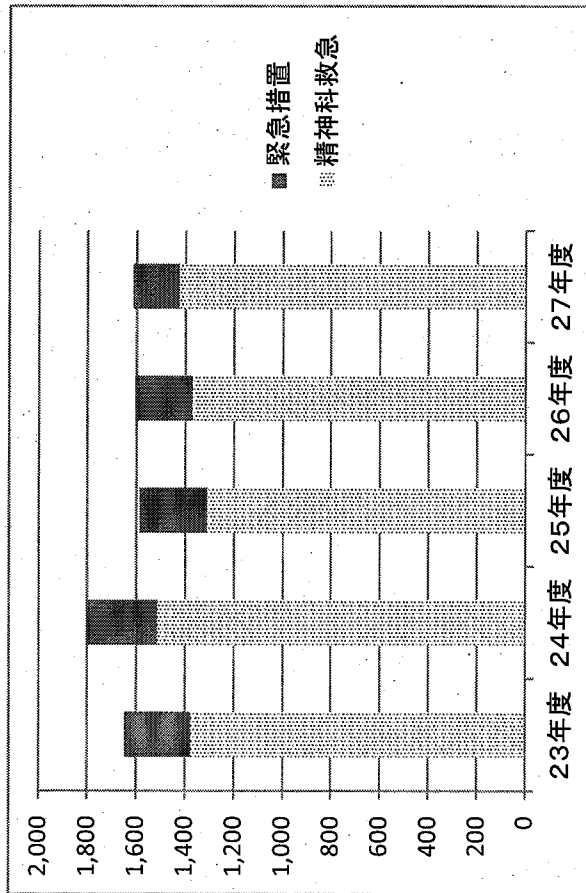
拠点病院名	入院形態		合計
	任意入院	医療保護入院 応急入院	
さわ	39	175	214
小曽根	2	1	3
榎坂	1	2	3
茨木	3	4	7
光愛	1	6	7
オレンジホスピタル	2	2	4
新阿武山	11	18	29
京阪	10	15	25
寝屋川サナ	7	18	25
関西記念	4	14	18
阪奈サナ	6	4	10
小阪	1	4	5
阪本	8	15	23
八尾こころ	2	4	6
国分	27	63	90
丹比荘	14	6	20
合計	141	265	406

拠点病院名	入院形態			合計
	任意入院	医療保護入院	応急入院	
吉村	6	15	4	25
大阪さやま	6	4		10
汐ノ宮温泉	55	53	7	115
阪南	5	161	44	210
浅香山	2	8		10
浜寺	13	11	1	25
新生会	2			2
久米田	33	62	16	111
水間	2	14		16
貝塚中央	12	32		44
木島	15	35	13	63
こころあ	6	6		12
七山	11	49	29	89
関西サナトリウム	4	8		12
ほくとクリニック	21	80	22	123
合計	331	889	199	1,419
府立精神医療センター	2	4	0	6



### 3-8. 精神科救急医療情報センター及び緊急措置利用件数

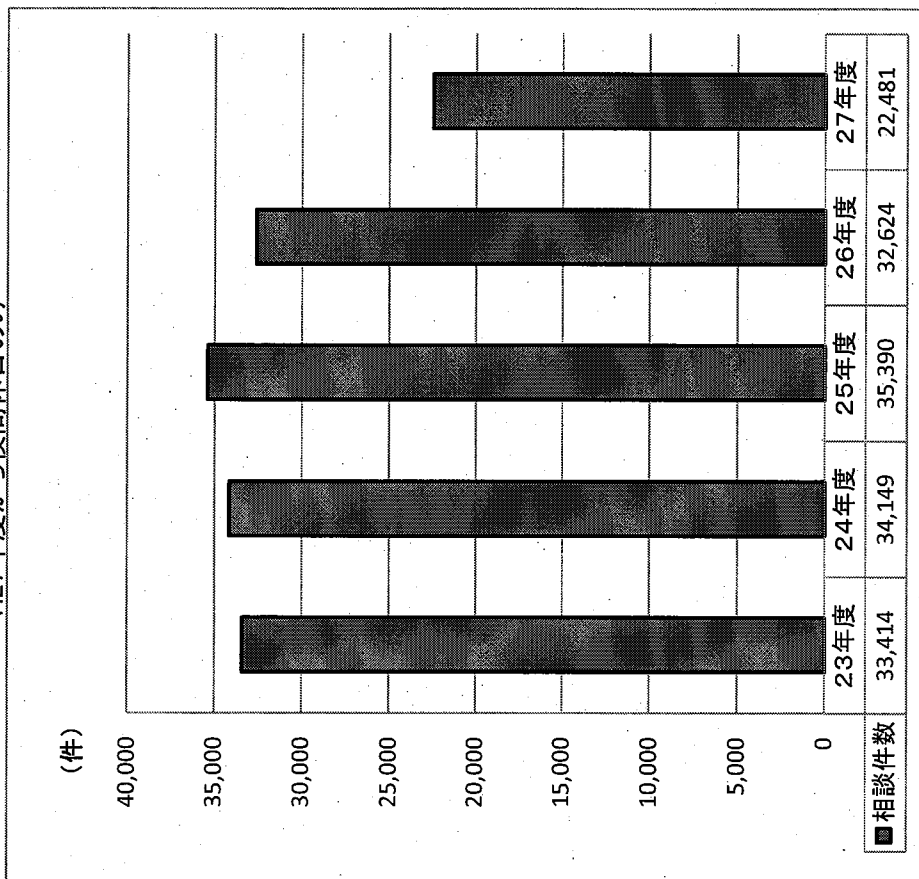
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
精神科救急	1,377	1,515	1,309	1,371	1,425
緊急措置	270	289	277	234	189
合計	1,647	1,804	1,586	1,605	1,614



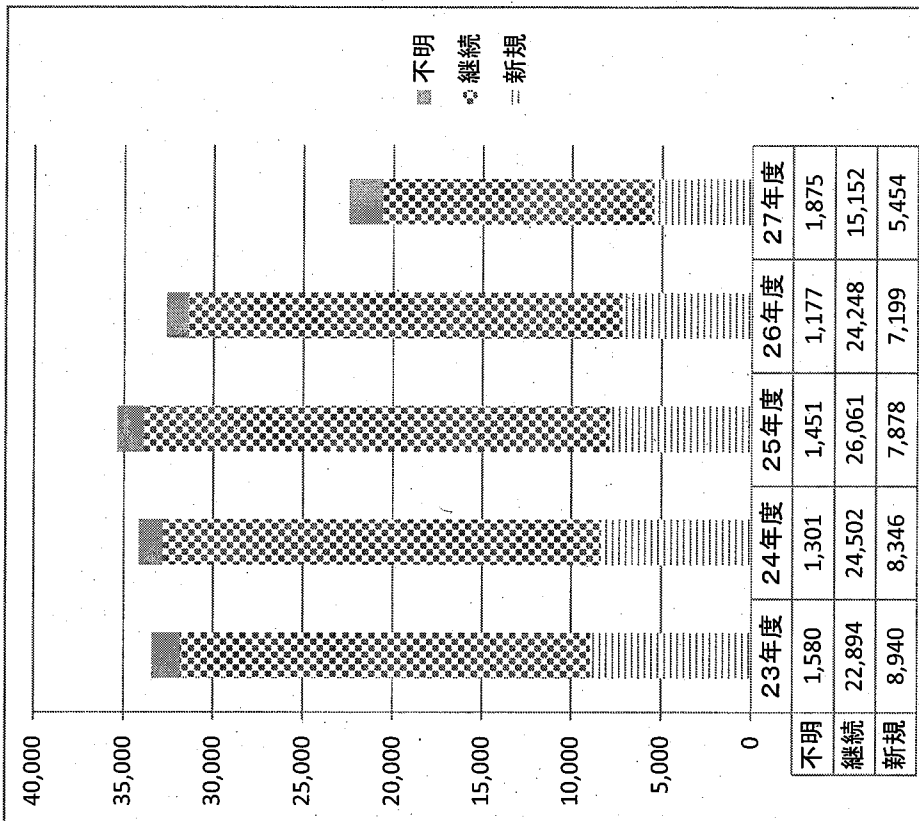
# 【おおさか精神科救急ダイヤルについて】

## 資料4

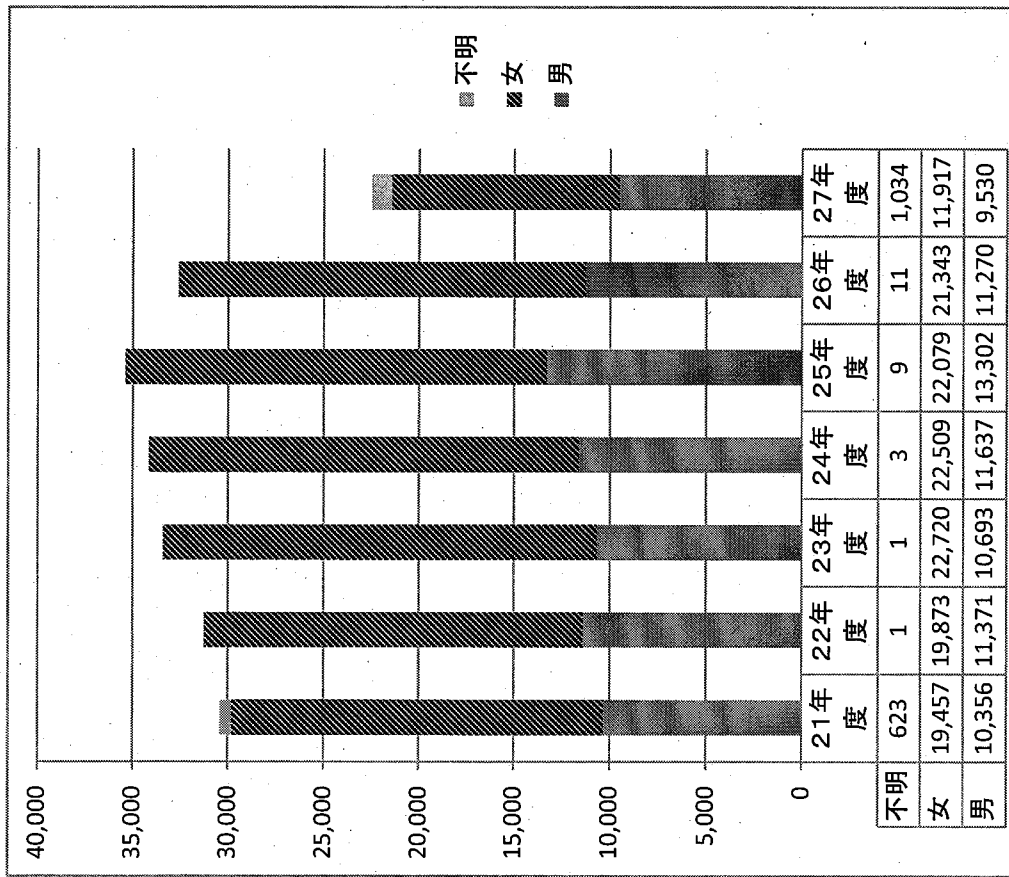
4-1. 相談件数 H26年9月10日からナビダイヤルに移行  
H27年度から夜間休日のみ



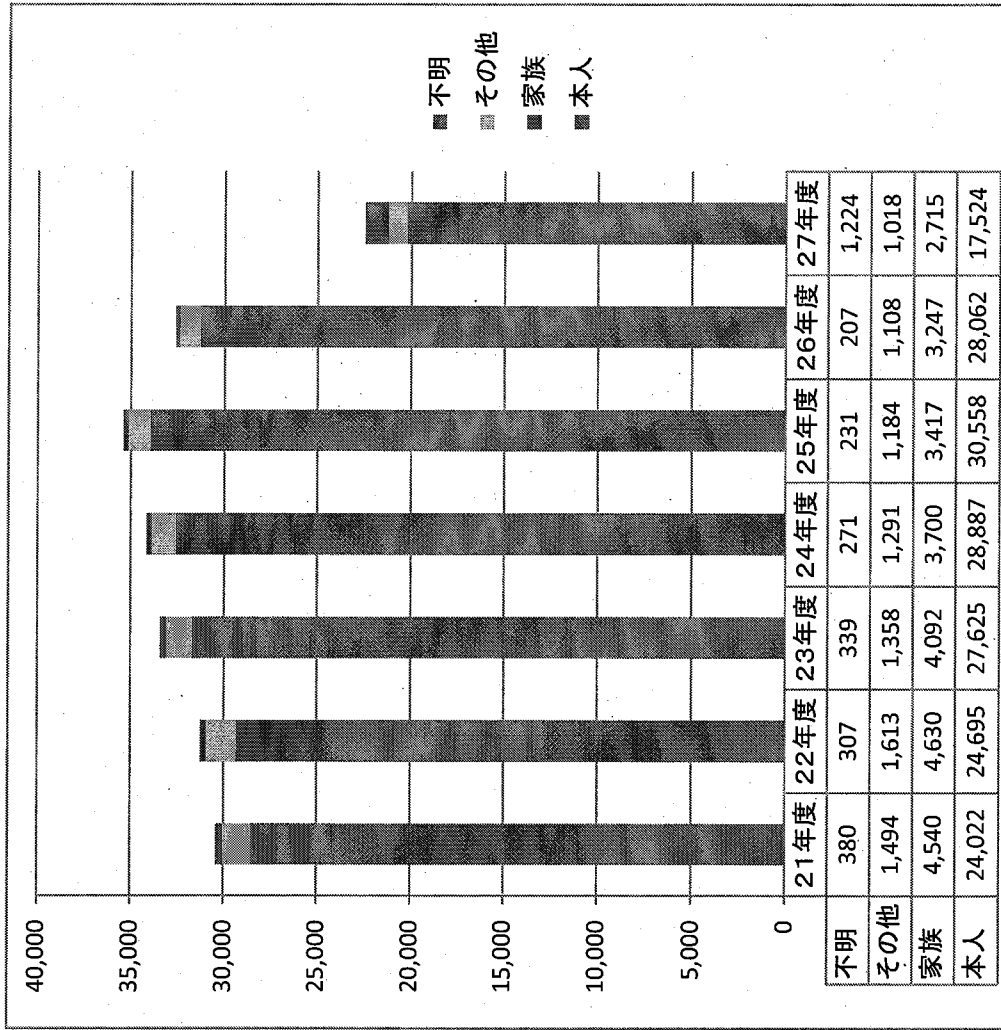
4-2. 新規・継続相談件数



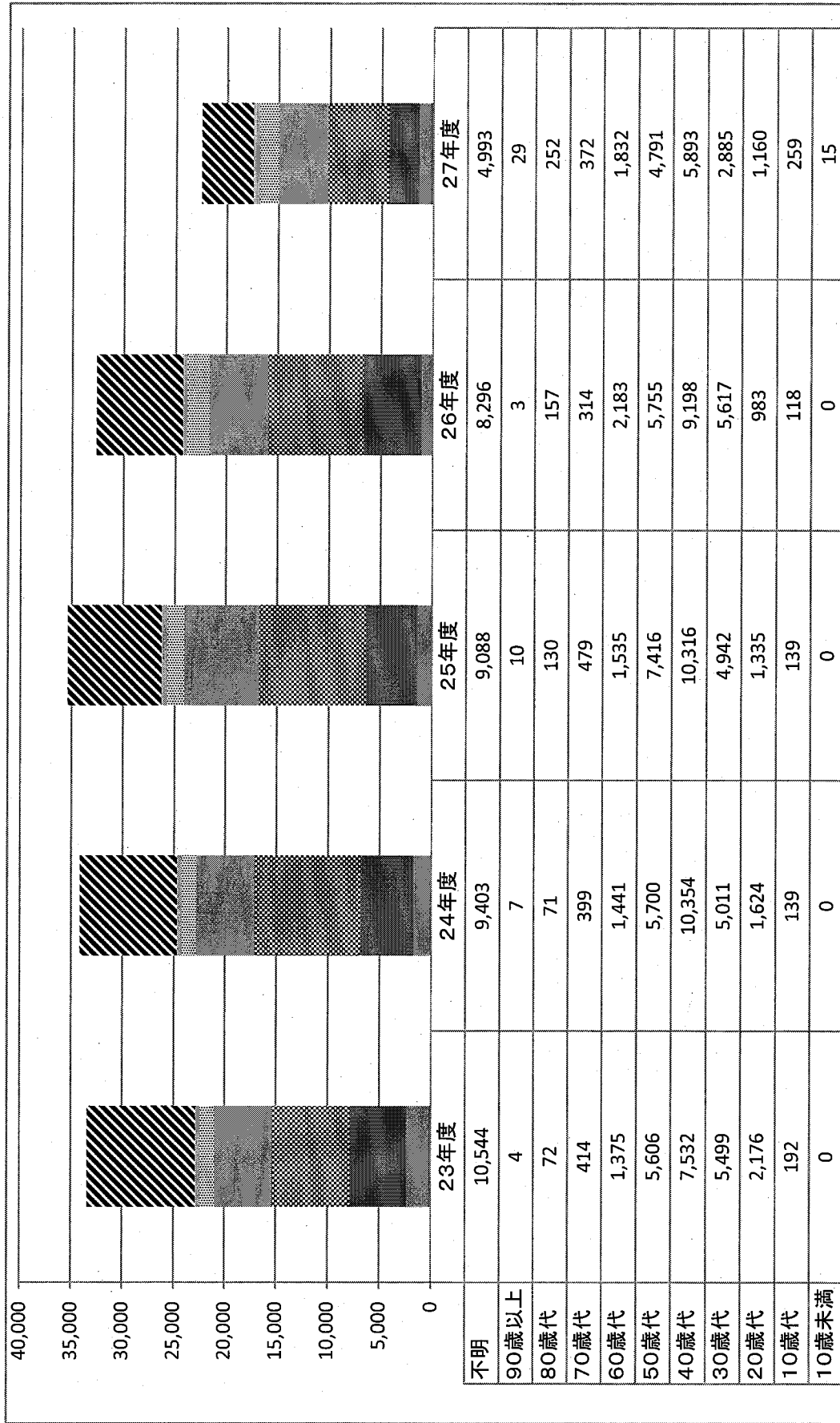
### 4-3. 性別



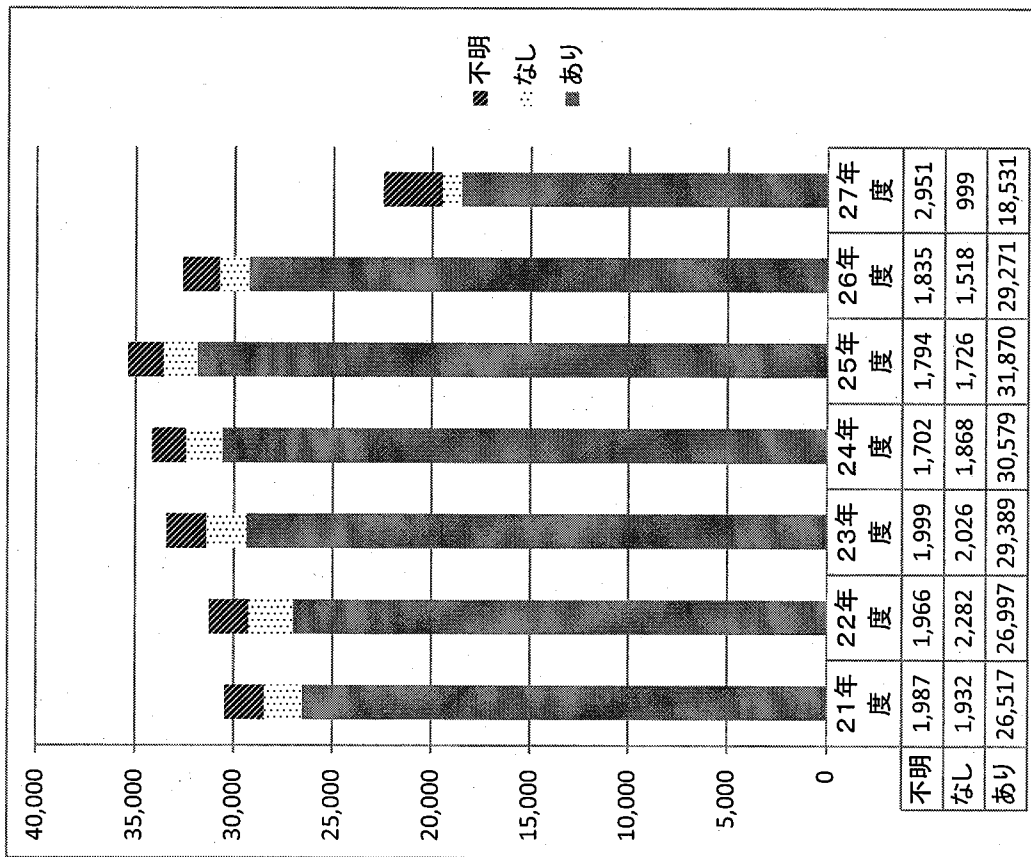
### 4-4. 相談者



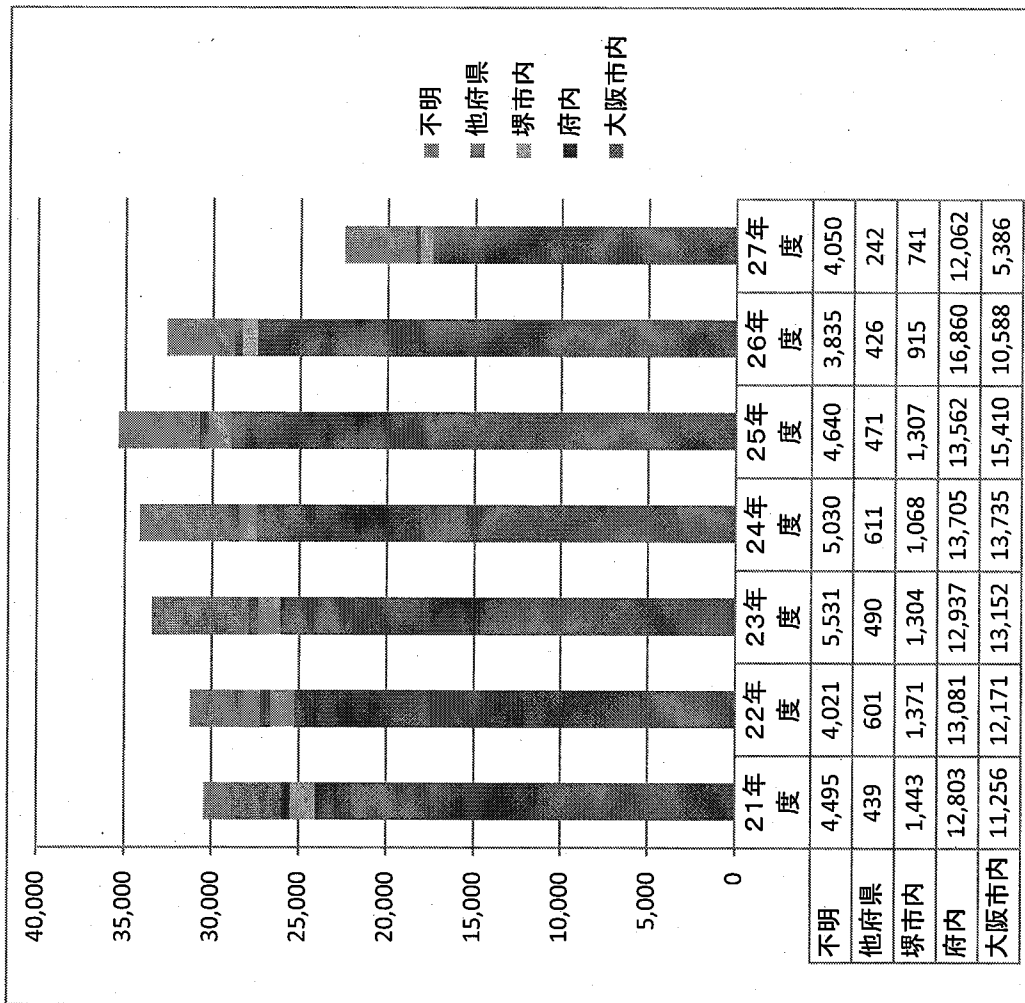
4-5. 年代別



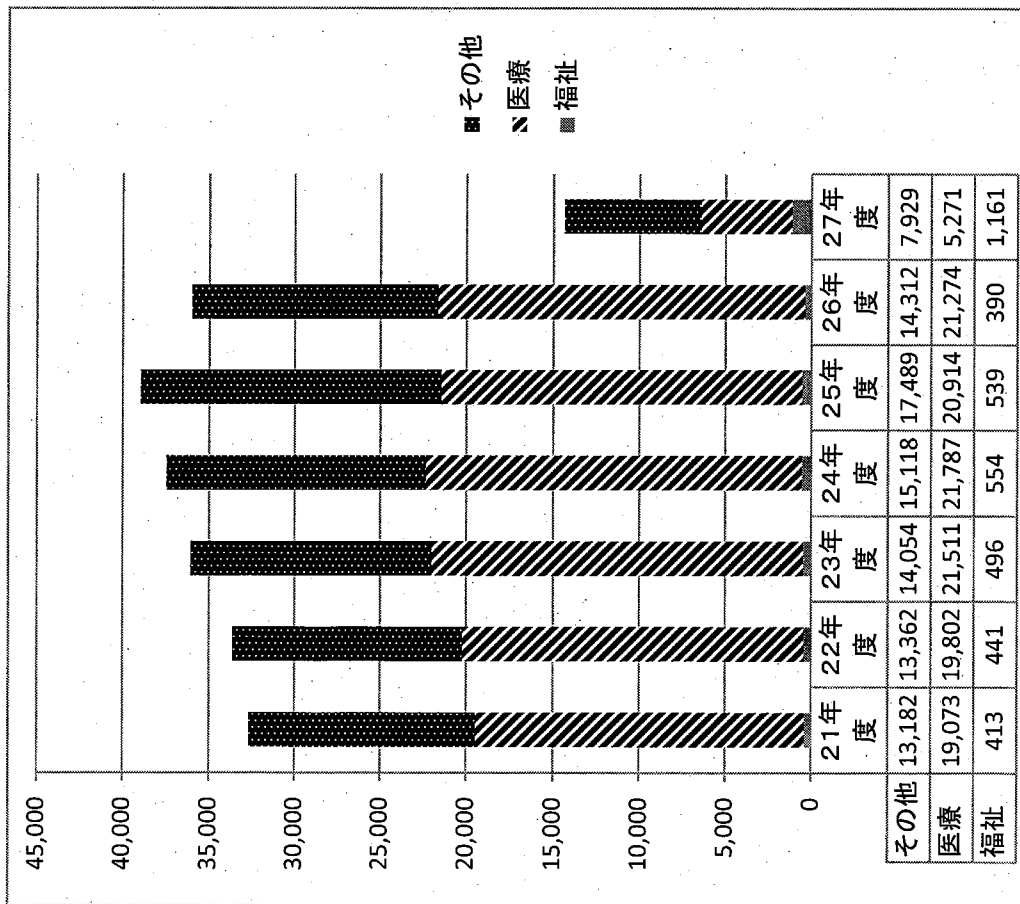
4-6. 精神科受診歴



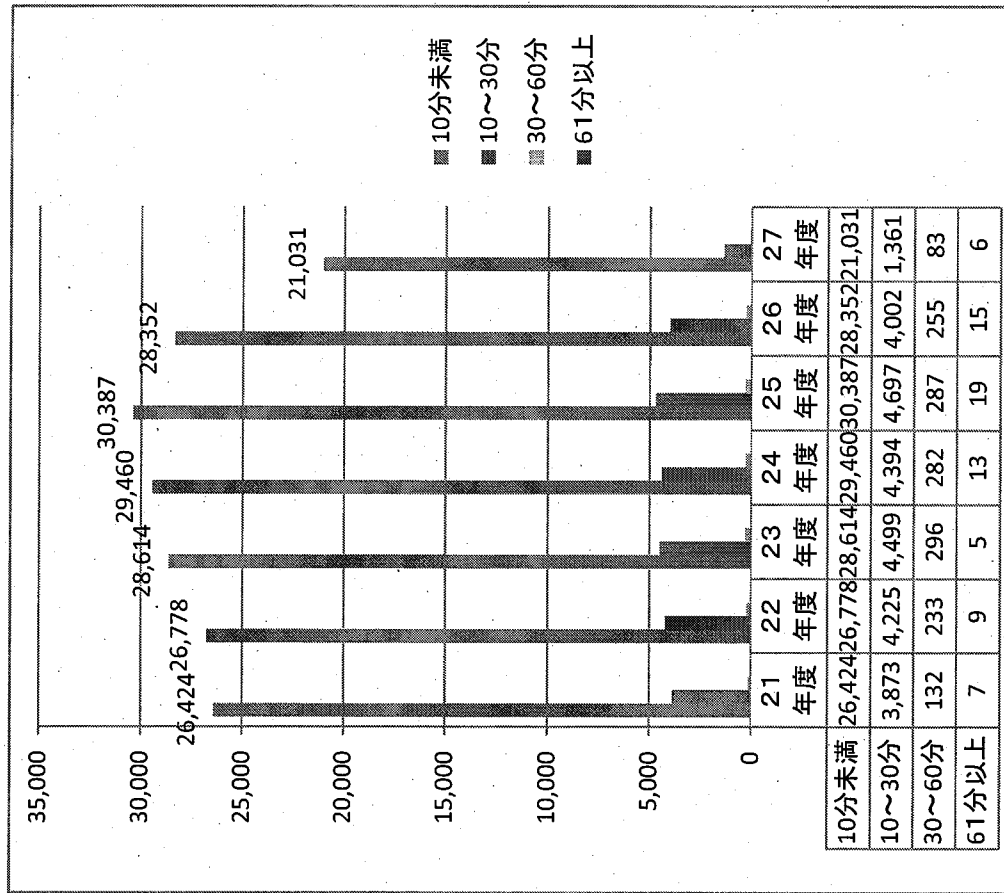
4-7. 相談者の居住地



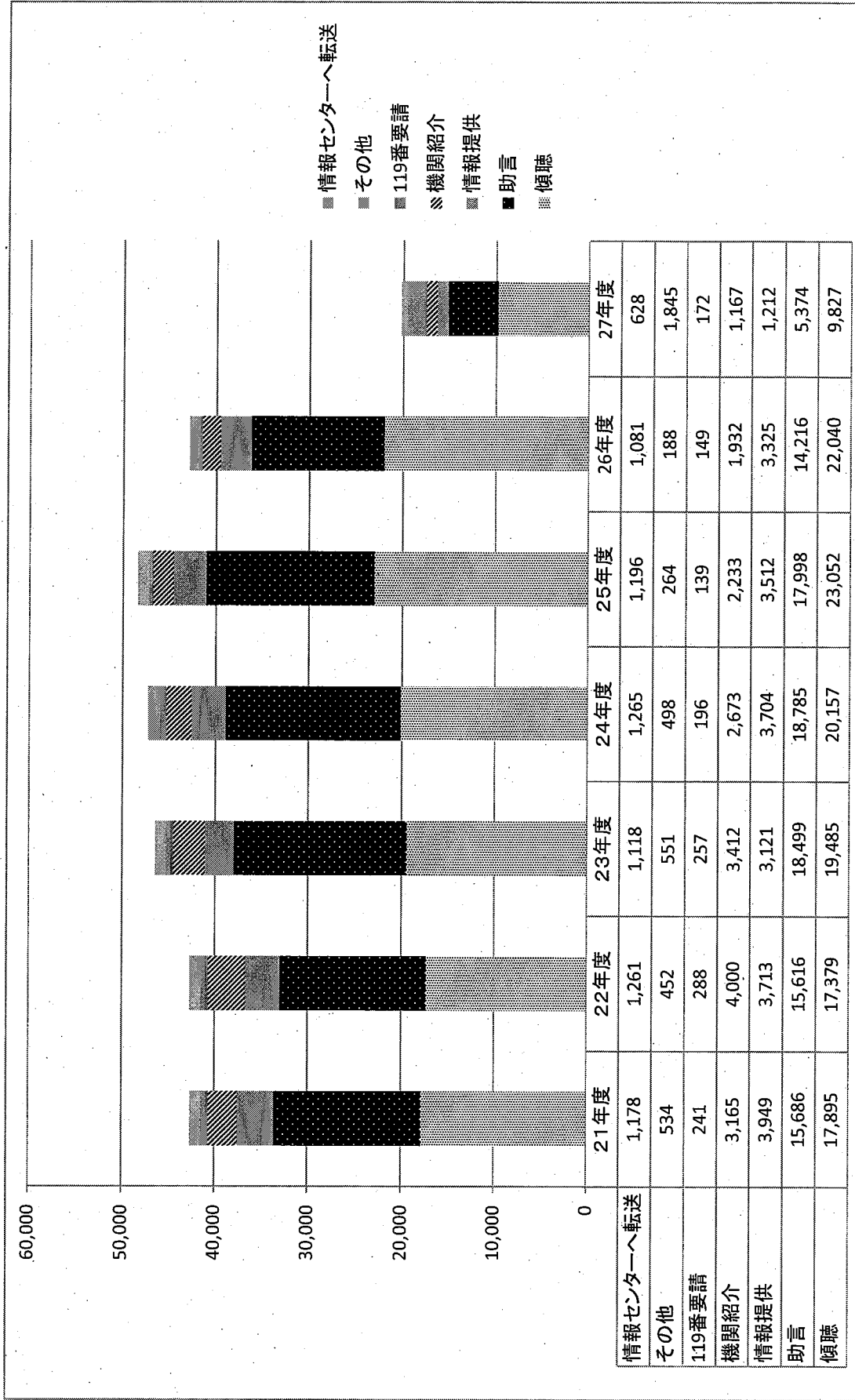
4-8. 相談の種類(複数回答あり)



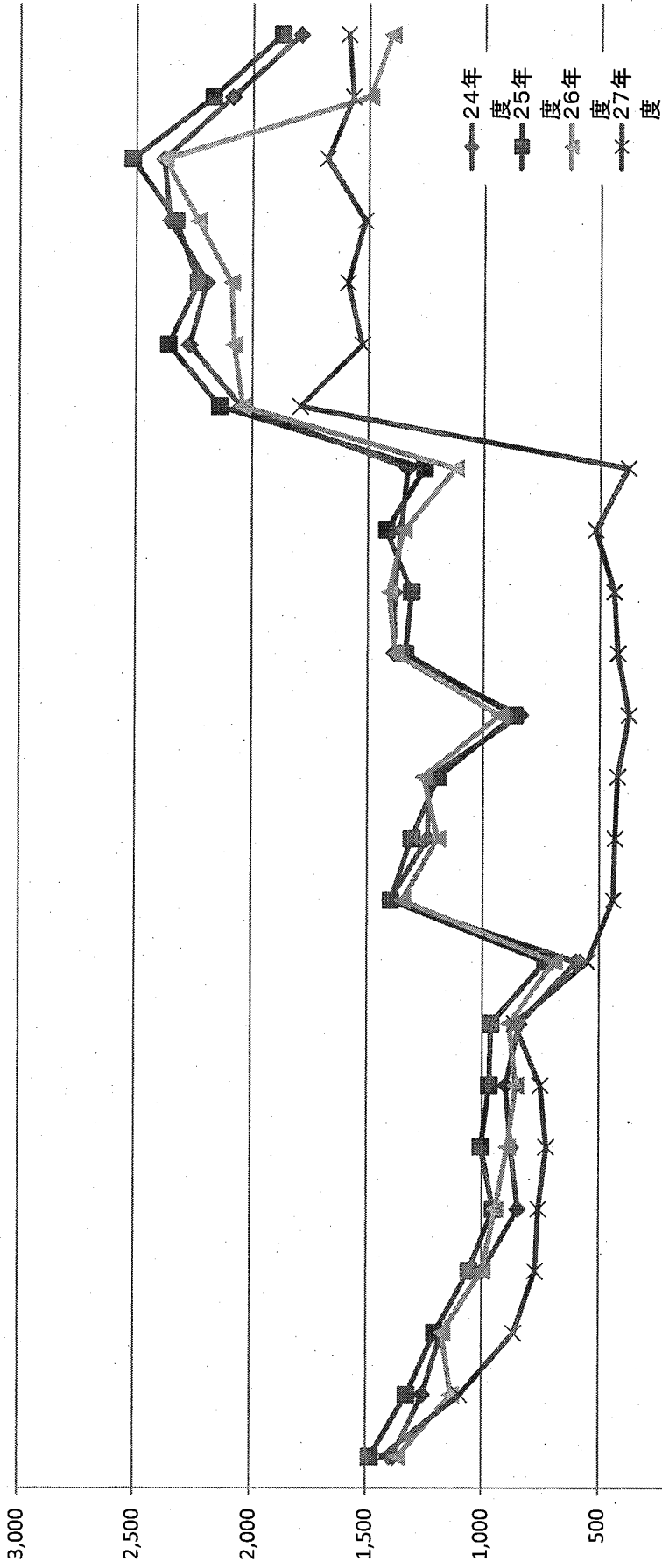
4-9. 相談時間(割合)



4-10. 対応結果(複数回答あり)



### 4-11. 相談時間帯

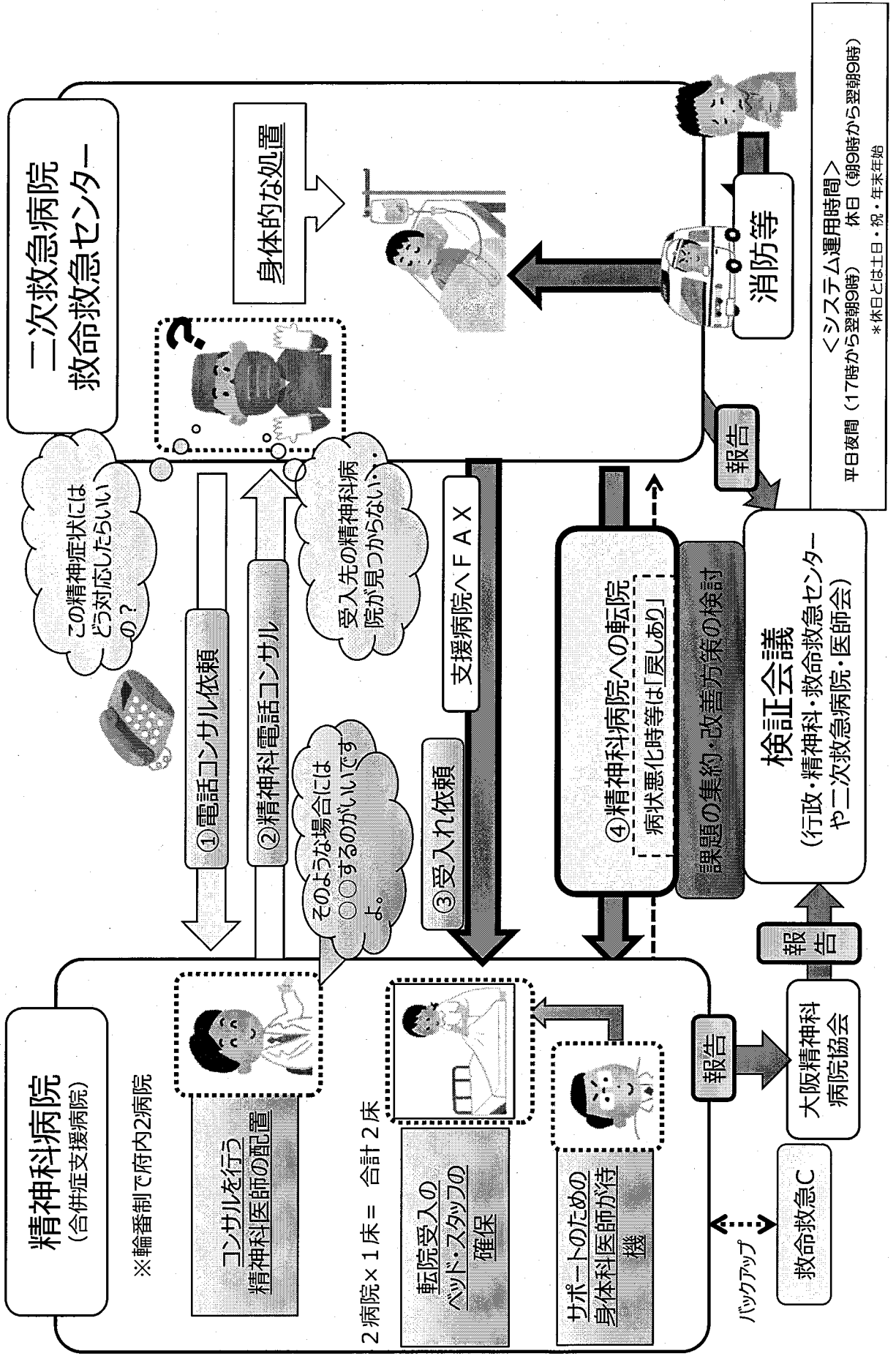


27年度不明14件除く

	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台
24年度	1,383	1,255	1,173	996	845	876	898	840	598	1,400	1,238	1,229	839	1,384	1,382	1,357	1,326	2,048	2,271	2,197	2,355	2,381	2,086	1,792
25年度	1,483	1,324	1,202	1,056	951	1,005	970	963	730	1,396	1,307	1,193	864	1,336	1,309	1,419	1,255	2,140	2,361	2,235	2,330	2,516	2,171	1,874
26年度	1,362	1,132	1,172	999	943	891	855	885	692	1,346	1,195	1,255	929	1,379	1,409	1,343	1,121	2,041	2,079	2,090	2,234	2,377	1,496	1,399
27年度	1,429	1,094	862	770	757	724	749	861	549	439	432	421	373	421	437	518	378	1,792	1,526	1,589	1,514	1,677	1,567	1,588



# 夜間・休日精神科合併症支援システム

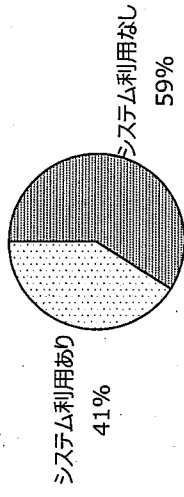


5-1 夜間・休日精神科合併症支援システム 年間利用状況(平成27年8月17日～28年8月16日)

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
<b>本システムの利用件数</b>		11	14	13	17	15	14	15	10	23	27	13	11	12	195
コンサルテーションのみ		4	7	4	10	4	8	8	4	13	10	6	5	6	89
サポート医の活用		-	-	-	1	-	2	-	-	1	2	-	-	-	6
<b>コンサルテーションの後、入院</b>		5	6	7	7	9	6	7	5	9	16	7	6	6	96
サポート医の活用		1	2	1	1	1	1	1	-	5	4	5	2	1	25
戻し		-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
し		-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
搬送		2	6	5	7	8	6	4	4	6	12	5	4	2	71
消防隊による搬送		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タクシー・自家用車等による搬送		3	-	-	-	1	-	2	1	2	1	-	2	2	14
病院の救急車による搬送		-	-	2	-	-	-	1	-	1	3	2	2	2	11
<b>コンサルテーションの後、外来受診</b>		2	1	2	-	2	-	-	1	1	1	-	-	-	10
サポート医の活用		-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
戻し		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
し		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
搬送		1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	5
消防隊による搬送		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タクシー・自家用車等による搬送		1	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	5
病院の救急車による搬送		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

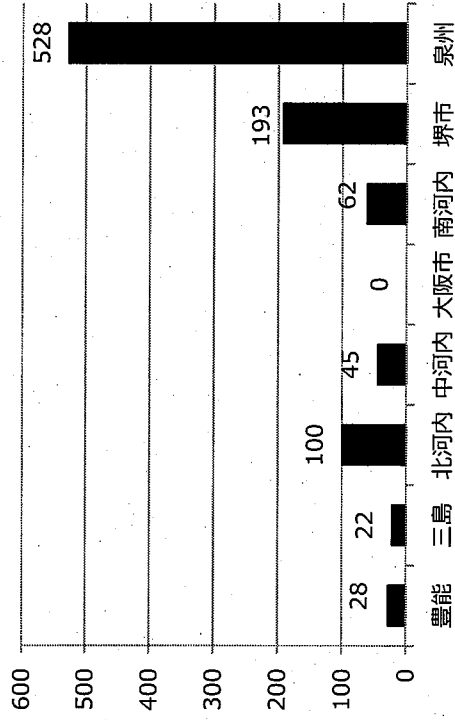
### 5-2 システム利用状況

	件数
総日数	366
システム利用なし	216
システム利用あり	150



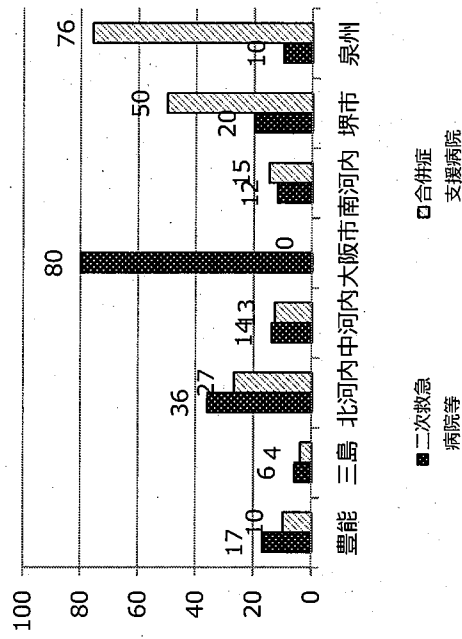
### 5-3 合併症支援病院輪番回数（二次医療圏別）

圏域	精神科輪番回数
豊能	28
三島	22
北河内	100
中河内	45
大阪市	0
南河内	62
堺市	193
泉州	528
総計	978



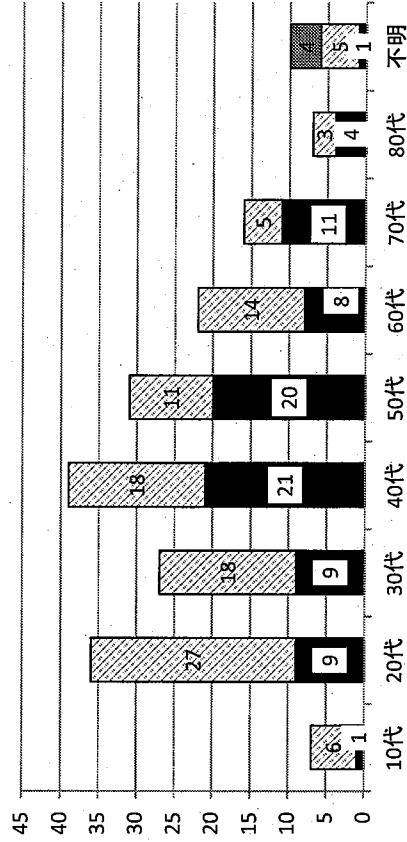
### 5-4 コンサル件数（二次医療圏別）

	二次救急 病院等	合併症 支援病院
豊能	17	10
三島	6	4
北河内	36	27
中河内	14	13
大阪市	80	0
南河内	12	15
堺市	20	50
泉州	10	76
総計	195	195



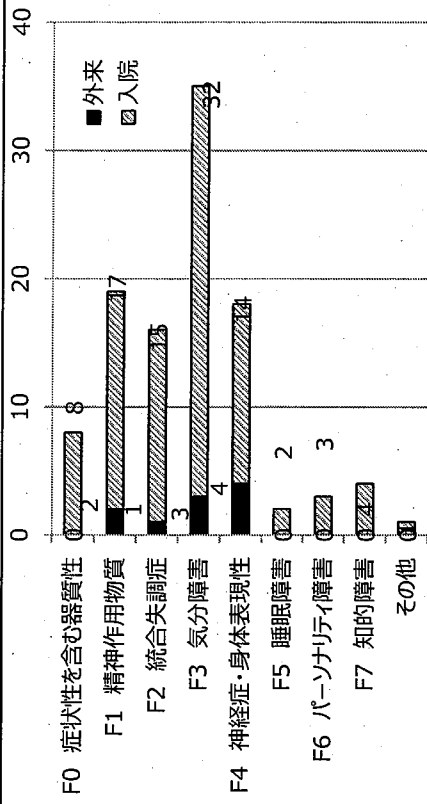
### 5-5 性別と年代

年代	男性	女性	不明	合計
10代	1	6		7
20代	9	27		36
30代	9	18		27
40代	21	18		39
50代	20	11		31
60代	8	14		22
70代	11	5		16
80代	4	3		7
不明	1	5	4	10
合計	84	107	4	195



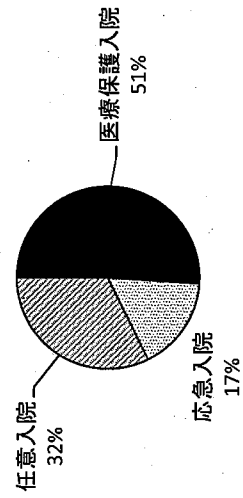
### 5-6 受診結果と精神疾患

病名	外来	入院	総計
F0 症状性を含む器質性	0	8	8
F1 精神作用物質	2	17	19
F2 統合失調症	1	15	16
F3 気分障害	3	32	35
F4 神経症・身体表現性	4	14	18
F5 睡眠障害	0	2	2
F6 パーソナリティ障害	0	3	3
F7 知的障害	0	4	4
その他	0	1	1
合計	10	96	106



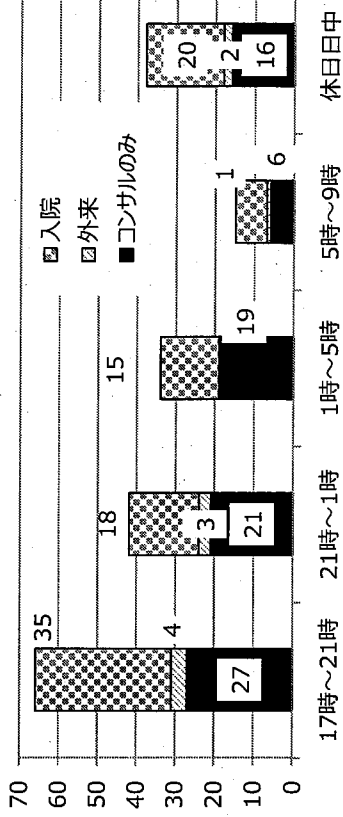
### 5-7 入院形態

	件数
医療保護入院	49
応急入院	16
任意入院	31
合計	96



5-8 コンサル受電時間帯

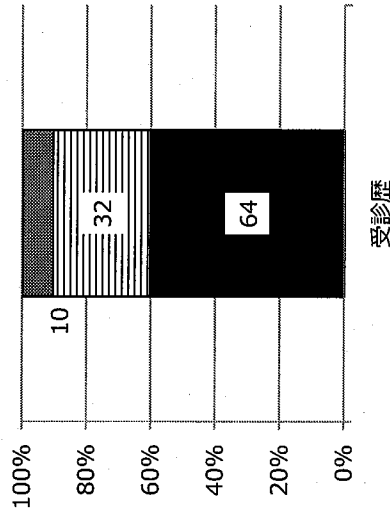
	コンサルのみ	外来	入院	総計
17時~21時	27	4	35	66
21時~1時	21	3	18	42
1時~5時	19		15	34
5時~9時	6	1	8	15
休日日中	16	2	20	38
総計	89	10	96	195



5-9 精神科受診歴等 (N=106 合併症支援病院受診者)

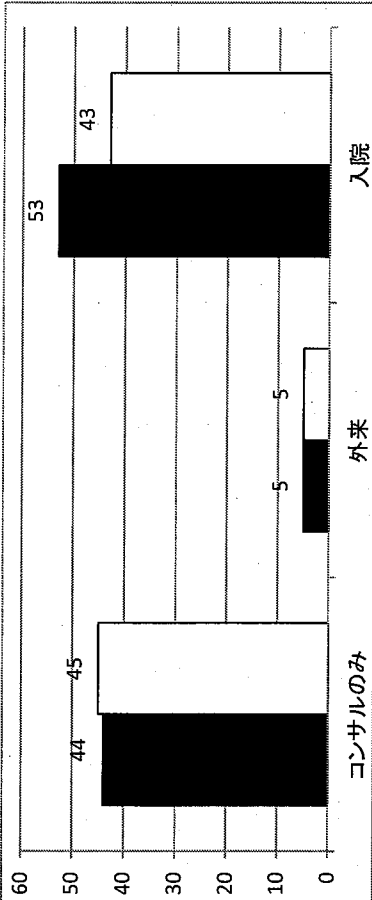
受診歴	人数
あり	64
なし	32
不明	10
合計	106

\*うち「治療中」は43 「入院歴あり」は20



5-10 過量服薬・自傷等の有無と転帰

	コンサルのみ	外来	入院	合計
自傷等あり	44	5	53	102
自傷等なし	45	5	43	93
総計	89	10	96	195



5-11 受療者の精神症状(複数回答) (N=106 合併症支援病院受診者)

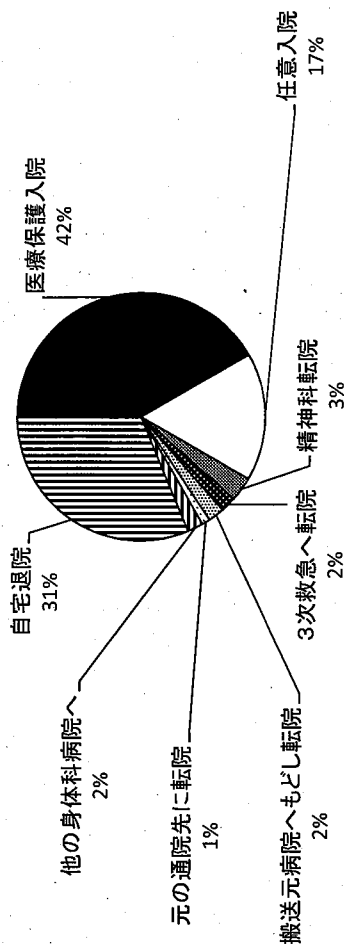
精神症状	件数
抑うつ	34
自殺念慮	30
興奮	28
自殺企図	26
不安・焦燥	25
大量服薬	22
幻覚	18
意識障害	17
妄想	15
睡眠障害	14

自傷	12
昏迷	9
奇異行動	9
暴力	9
その他	9
けいれん	8
錯乱	7
パニック発作	5
拒食	4
徘徊	3

器物損壊	3
過換気	2
そう	1
過食	1
薬切	0
副作用	0

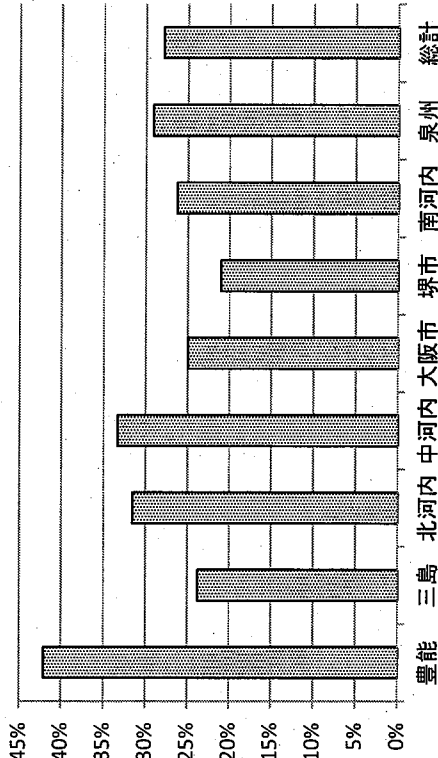
5-12 入院者の一週間後の状況

	件数
医療保護入院	40
任意入院	16
精神科転院	3
3次救急へ転院	2
搬送元病院へもどし転院	2
元の通院先に転院	1
他の身体科病院へ	2
自宅退院	30
合計	96



5-13 システム利用救急病院割合 (8月17日~8月16日)

	利用病院数	圏域病院数	利用割合
豊能	8	19	42%
三島	5	21	24%
北河内	12	38	32%
中河内	6	18	33%
大阪市	25	100	25%
堺市	4	19	21%
南河内	5	19	26%
泉州	7	24	29%
総計	72	258	28%

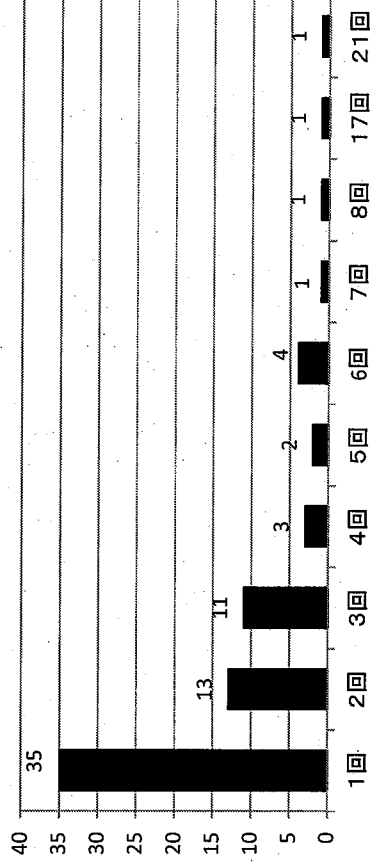


システム開始早期に誤利用のあった非救急2病院を除く  
精神科のみの救急告示を除く



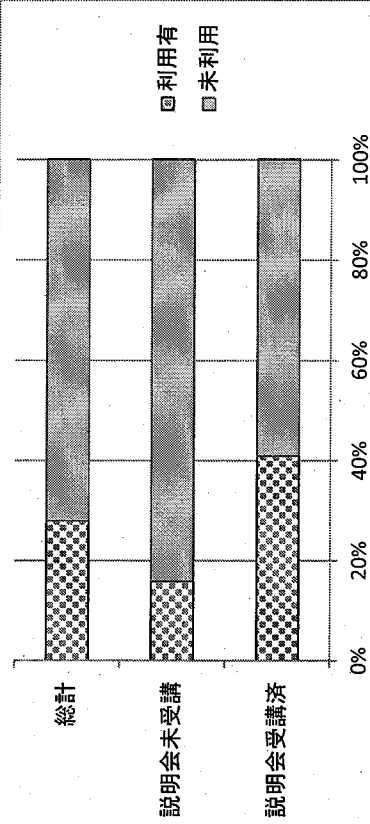
5-14 利用回数別 救急病院数

利用回数	病院数
1回	35
2回	13
3回	11
4回	3
5回	2
6回	4
7回	1
8回	1
17回	1
21回	1
総計	72



5-15 説明会受講の有無と利用救急病院数

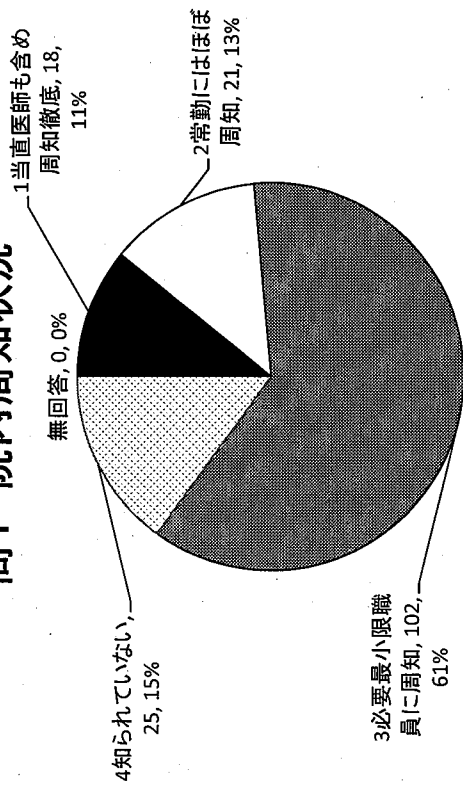
	利用有	未利用	合計	利用有 (割合)	未利用 (割合)
説明会受講済	51	74	125	41%	59%
説明会未受講	21	112	133	16%	84%
総計	72	186	258		



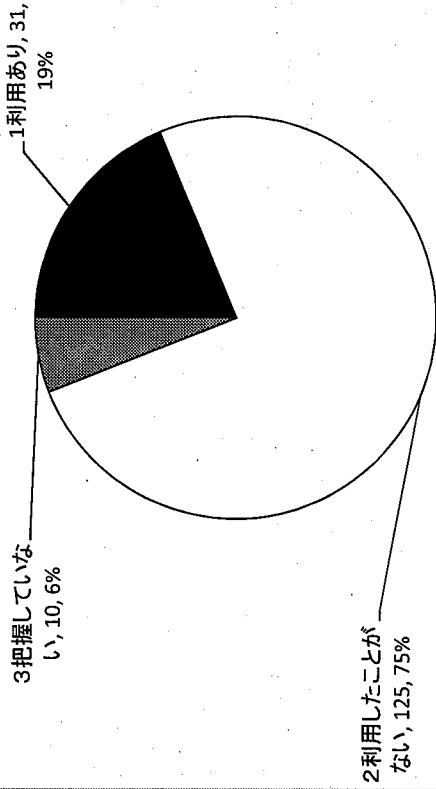
システム開始早期に誤利用のあった非救急2病院を除く  
精神科のみの救急告示を除く

5-16 救急病院へのアンケート

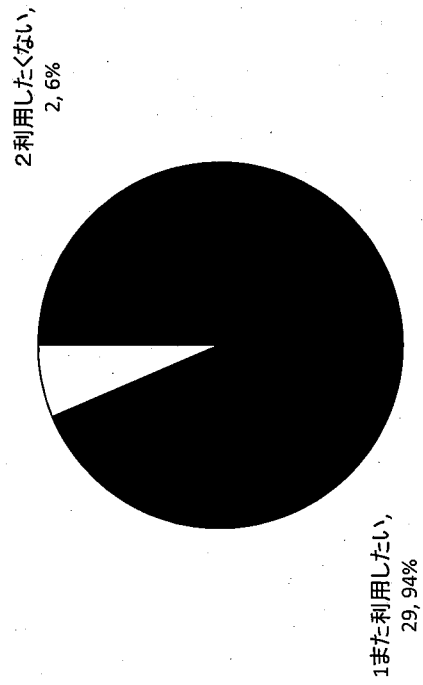
問1 院内周知状況



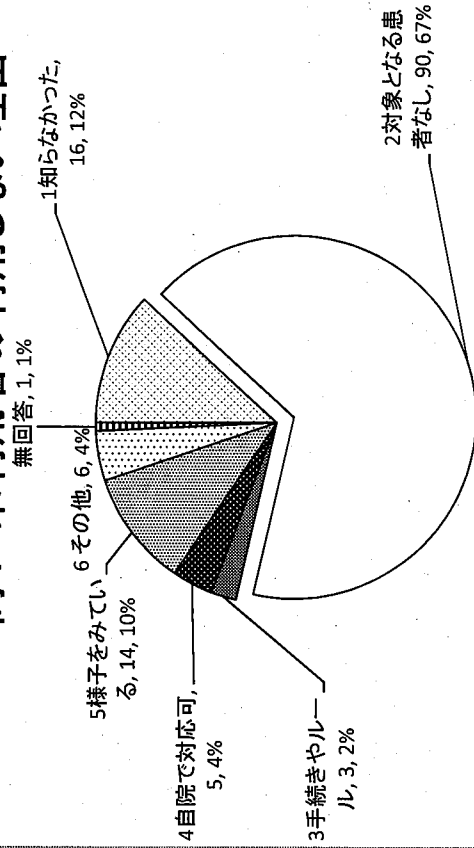
問2 システム利用の有無



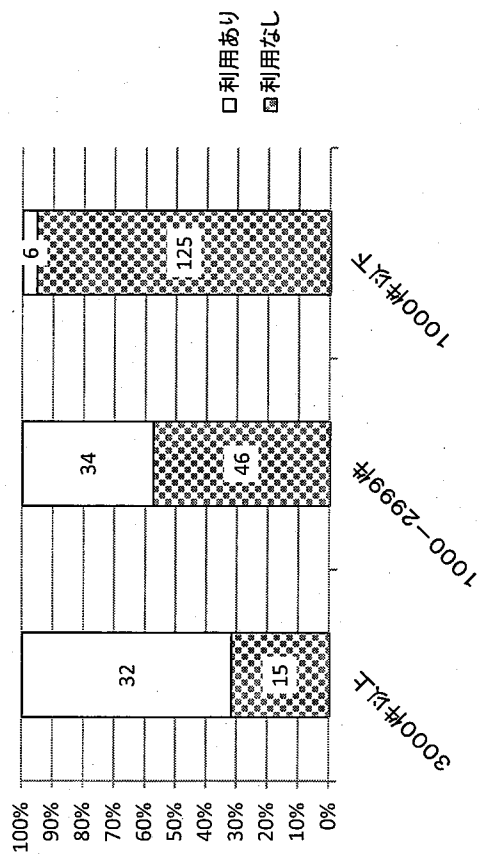
問3 利用経験者のシステムの印象



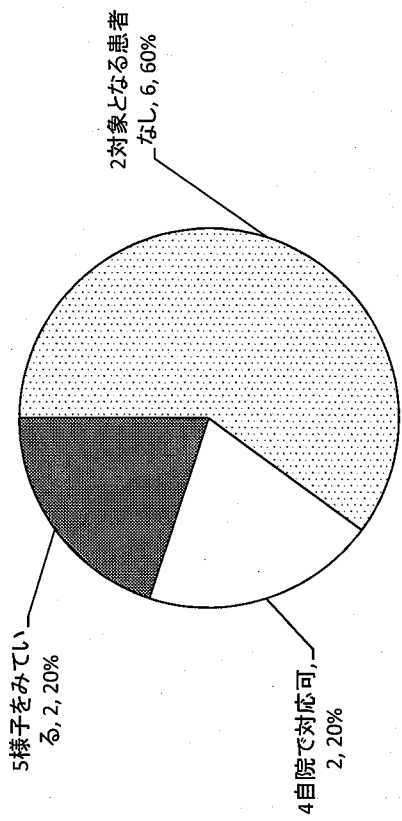
問4 未利用者の利用しない理由



### 年間搬送件数とシステム利用状況



### 利用しない理由 (搬送件数3000以上再掲)



## 6-1 合併症協力病院受入実績

資料6

法人等名	病院名	H24	H25	H26	H27
公益財団法人 田附興風会医学研究所	北野病院	1	0	0	0
国立大学法人	大阪大学医学部附属病院	0	2	2	0
地方独立行政法人大阪府立病院機構	大阪府立急性期・総合医療センター	102	86	83	67
公立大学法人	大阪市立大学医学部附属病院	5	1	4	4
医療法人 恒昭会	藍野病院	73	78	70	81
学校法人	関西医科大学総合医療センター	10	9	5	2
特定医療法人 三上会	東香里病院	5	17	6	13
公益財団法人	浅香山病院	37	37	33	46
学校法人	大阪医科大学附属病院	9	9	19	14
地方独立行政法人大阪市民病院機構	大阪市立総合医療センター	22	24	33	23
日本赤十字社	大阪赤十字病院	5	2	4	8
	11病院	269	265	259	258

\*平成27年度からシステムとしては存置するものの、受け入れに対する財源的な措置は廃止  
網掛けは半期のみ回答

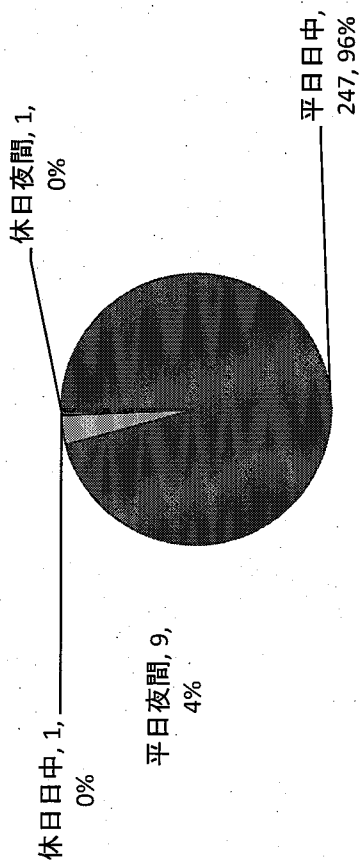
### 【合併症協力病院】

精神科病床を持つ11の病院において合併症の受入力病院として受け入れを行っている病院。精神科病院

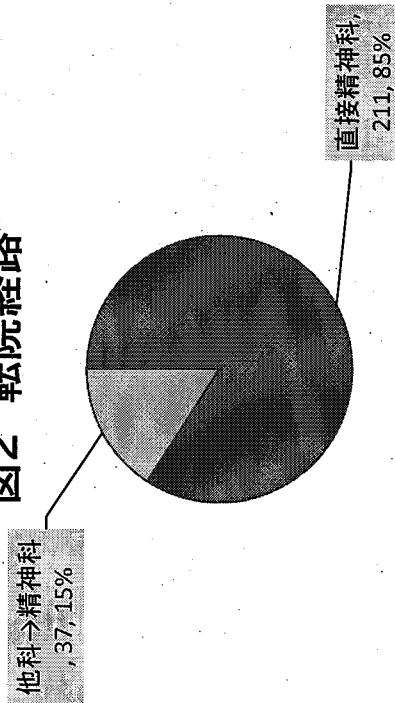
## 6-2 平成27年度精神科身体合併症受け入れ実績調査結果

調査対象11病院×2(上・下半期)=22件のうち18件回収 回収率82%

### 図1 転院受入時間帯



### 図2 転院経路



### 図3 年齢階層

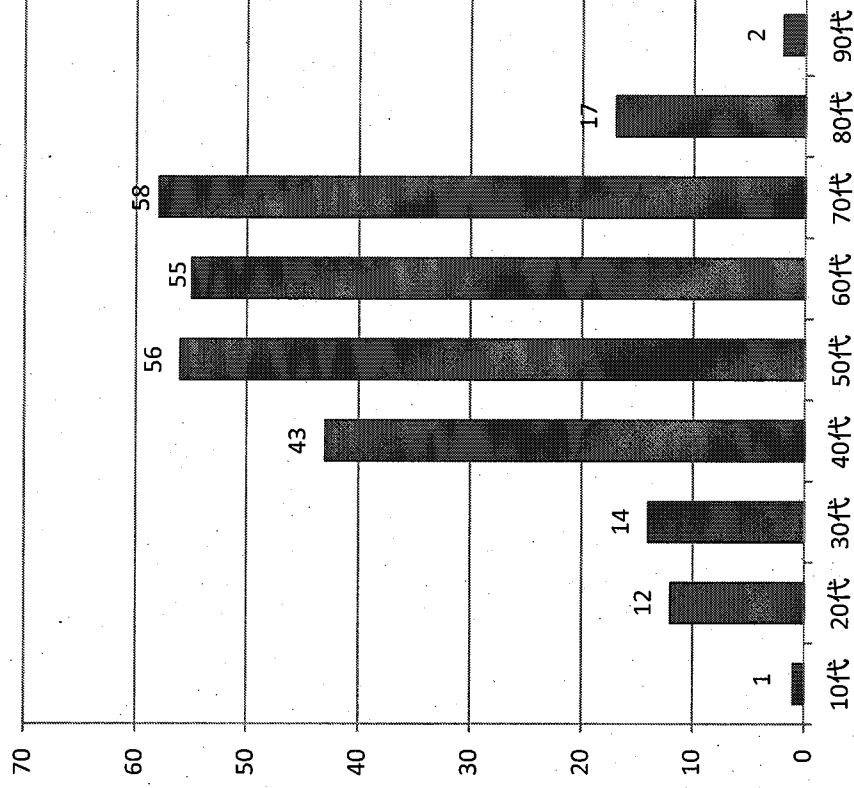


図4 精神疾患名

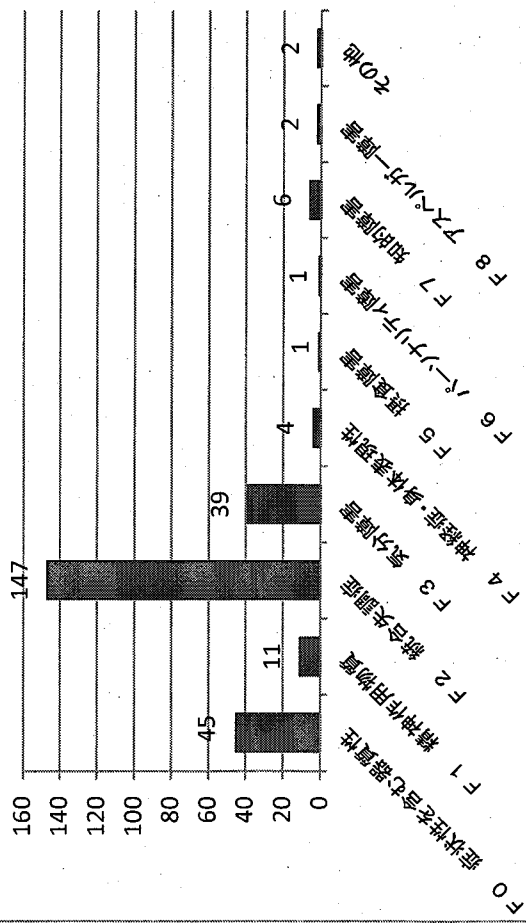
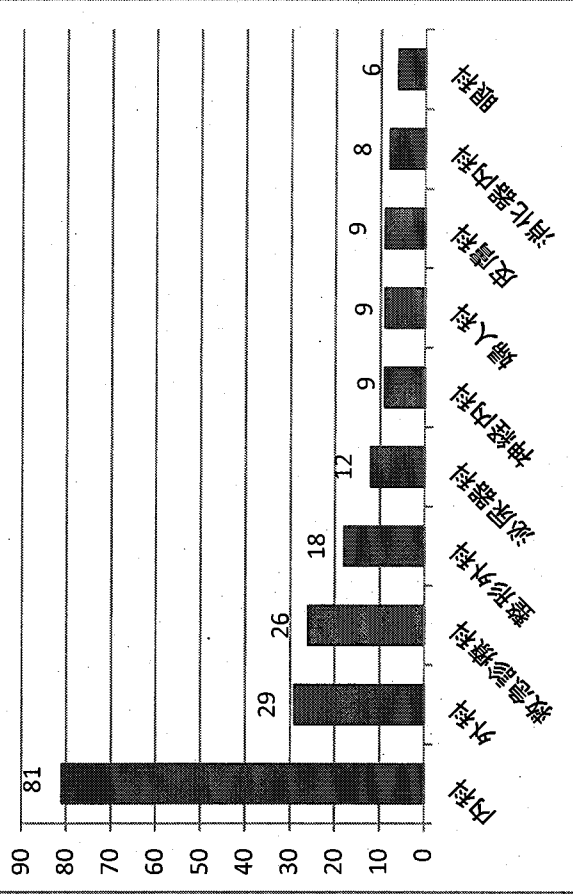


図5 対応した身体科の診療科目 (上位10位)



誤送信にはくれぐれもご注意ください。

様式1

# FAX送信票

一般救急病院 合併症支援病院 (精神科病院)

平成 年 月 日

様  
(合併症支援病院 (精神科病院) 名)

## 夜間・休日 精神科合併症支援システム利用 (受診) 依頼書

本日、当院を受診した患者様について、夜間・休日 精神科合併症支援システムを利用して受診させていただきます。

また、身体症状の急変等によって貴院にて対応できない場合には、再度の受入れ (戻し) に応じます。

なお、担当医が不在の場合においても、再度の受入れ (戻し) については本院の責任において対応します。

## 送付資料

- 1 本紙 (夜間・休日 精神科合併症支援システム利用 (受診) 依頼書) 様式1
- 2 身体治療状況等確認シート 様式2
- 3 精神科病院へ転院することへの同意書 様式3  
(家族または本人の署名のあるもの)
- 4 診療情報提供書 様式定め無し

送付元

一般救急病院名

医師氏名

連絡先電話番号

## 参考資料

様式2

## 身体治療状況等確認シート

該当する項目に☑をいれてください。

注：転院の受入れはこれらの項目だけでなく、個別事例ごとに総合的に判断されます。

(1) 救急 (身体) 疾患について処置済ですか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	<input type="checkbox"/> 意識は清明 <input type="checkbox"/> 覚醒しているが、しばらく静脈確保のための点滴が必要 <input type="checkbox"/> 覚醒しているが、しばらく呼吸・循環をコントロールするための点滴が必要 <input type="checkbox"/> 刺激に反応して一時的に覚醒または刺激に対して覚醒しない	
(3) 呼吸については O <sub>2</sub> の投与なしで、30 分以上 SpO <sub>2</sub> が正常に保たれていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(4) リストカット等の外傷がありますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
「はい」の場合、その傷 (縫合後) の程度は	<input type="checkbox"/> 1 週間後に抜糸が必要な程度かそれ以下 <input type="checkbox"/> それ以上重傷	
(5) 骨折によりギブス固定をしていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(6) 妊婦ですか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
「はい(妊婦)の場合」、 妊娠経過・妊娠週数をはっきりしていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

### 精神科病院へ転院することへの同意書

① 隔離・拘束対応について

精神科病院に入院した際に、自殺のおそれや切迫している場合や、興奮が著しく患者様ご自身の安全を守れない場合など、それ以外に方法がない場合は、やむを得ず隔離\*1、拘束対応\*2となる場合があります。

拘束対応となった場合、肺血栓閉塞症（エコノミークラス症候群）\*3などの合併症がまれにおこることがあります。

隔離・拘束の対応については、患者様の安全と、合併症の危険性を十分に考え、最低限の使用にとどめ、なるべく速やかに解除するように努めますが、上記対応になる可能性のあることに同意いただけない場合は、ご家族様に常につき添っていただくなどのご協力を求めることもあります。

\*1：隔離とは、出入口のドアが施錠された部屋で一人になっていただく行動制限のことです。隔離室あるいはそれに準じた個室で鍵をかけることとなります。  
\*2：拘束とは、衣類又は綿入り帯等を使用して、一時的にその方の身体を拘束し、動きを抑制する行動の制限のことです。  
\*3：肺血栓閉塞症（エコノミークラス症候群）とは、特に下肢などの深部静脈に血の塊ができて、それが血管からはがれて肺動脈が詰まる病気です。肺での酸素の取り込みが障害され低酸素血症や心不全を起してショックや死に至ることがあり、極めて緊急性の高い合併症です。長期臥床、肥満体型、妊娠などで発症リスクが高まります。ストッキング着用や、マッサージ、点滴による補液などで予防を行います。

② 入院中の療養環境について

入院時には、入院中の禁煙、携帯電話、カメラ付きゲーム機、パソコン、危険物となりうるような私物の持ち込み制限等があります。また、金銭管理等に費用が生じる場合があります。

加えて、精神科病院であるため、身体科治療が必要な場合には身体科治療が可能な病院へ再転院していただく場合があります。

\*なお、以上のことについては、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」や各病院の規定によって行われるもので、その他のルールにも従っていただく場合がありますので、詳しくは各病院の説明を受け、指示に従ってください。

また、病状によっては入院とならず外来受診のみとなることもあります。

年 月 日

上記の内容に同意します。

続柄 氏名

(署名)

連絡がとれる電話番号

(署名)

【報告先】  
大阪府健康医療部保健医療室地域保健課まで  
ファックス：06-4792-1722

### 夜間・休日 精神科合併症支援システム 事例報告書

転院できなかった事例や、電話コンサル対応の問題事例等について、その内容を具体的に記載いただき、上記までご報告ください。

日 時	平成 年 月 日 ( ) 時 分頃
精神科病院 名称	
精神科病院 医師	
事例の種類別	<input type="checkbox"/> 電話コンサルテーション <input type="checkbox"/> その他 ( )
事例の内容	

一般救急病院 名称	
連絡先電話番号	
担当者名 (職種)	( )



夜間・休日 精神科合併症支援実施事例報告書

以下の内容について合併症支援病院で御記入の上、速やかに、大精神科事務局へFAX送届してください。  
 (大阪精神科病院協会事務局 FAX: 072-251-6488)

1:合併症支援病院(精神科) 医療機関名		受付番号 台	
2:依頼元一般救急病院名		所在地 ( ) 市・町	
3:依頼日時	年 月 日	時 分	(24時間表記)
4:年齢	歳(代)	5:性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>
6:患者情報(救急病院からの聞き取り)			
(症例概要・推定病名等) ・身体症状 ・精神症状			
7:コンサル等依頼内容と様式送付の有無		8:コンサルで様式送付を依頼した場合の送付の有無	
様式1 依頼書		様式1 依頼書 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
様式2 身体状況等確認シート		様式2 身体状況等確認シート <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
様式3 同意書		様式3 同意書 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
9:コンサル等 対価内容			

受診・入院の希望があった場合 → 裏面10番へ  
 コンサルのみ希望の場合 → 裏面19番へ

10:受診等希望への対応と受診時の搬送手段		<input type="checkbox"/> 受入・受診 <input type="checkbox"/> 患者側都合で受診せず <input type="checkbox"/> 受け入れてできない <input type="checkbox"/> 12番へ <input type="checkbox"/> 11番へ <input type="checkbox"/> 10番へ (病床・必要性なし含む) <input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 病院救急車 <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 消防隊 <input type="checkbox"/> その他	
11:受入・受診とならなかった理由	→ 19番へ		
12:病態または精神科診断名	13:ICDコード		
14:精神科受診状況	<input type="checkbox"/> 通院中 <input type="checkbox"/> 治療中断 <input type="checkbox"/> 入院歴あり <input type="checkbox"/> 入院歴なし <input type="checkbox"/> 受診歴なし <input type="checkbox"/> 不明		
15:受診結果	<input type="checkbox"/> 外来 <input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 入院した場合は1週間後に様式5-2を別途提出		
16:身体症状			
17:精神症状	<input type="checkbox"/> 意欲障害 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> けいれん <input type="checkbox"/> 幻覚 <input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 昏迷 <input type="checkbox"/> 昏倒 <input type="checkbox"/> 奇異行動 <input type="checkbox"/> 興奮 <input type="checkbox"/> 錯乱 <input type="checkbox"/> 躁動 <input type="checkbox"/> 抑うつ <input type="checkbox"/> 不安・焦燥 <input type="checkbox"/> 過換気 <input type="checkbox"/> パニック発作 <input type="checkbox"/> 睡眠障害 <input type="checkbox"/> 過食 <input type="checkbox"/> 拒食 <input type="checkbox"/> 自暴自棄 <input type="checkbox"/> 自殺企図 <input type="checkbox"/> 自暴自棄 <input type="checkbox"/> 大瀉服薬 <input type="checkbox"/> 自傷 <input type="checkbox"/> 暴力 <input type="checkbox"/> 器物損壊 <input type="checkbox"/> 薬切れ <input type="checkbox"/> 副作用 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
【対応の概要】			
18:当日の対応と結果	<input type="checkbox"/> 外来のみ <input type="checkbox"/> 精神科入院 (入院形態) <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 病室 <input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 精神科以外への入院 (口もとの病室への戻し) <input type="checkbox"/> 他の病室への転院)		
19:一般科医等のサポート活用	あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>	20:オンコール対応の有無	あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>
21:サポート医活用内容			
22:その他特記事項(システムの改善にかかるとを含む)			
23:報告日	年 月 日	24:報告者 氏名(職稱)	(Or Ng PSW 等)

受診希望があった場合に回答

すべての場合回答

夜間・休日 精神科合併症支援実施事例報告書

様式5-2

入院した事例については、1週間後の状況について、大規模FAXを送信してください。  
 (大阪精神科病院協会 FAX: 072-251-6488)

受付番号

様式5-1の番号とあわせること

1合併症支援病院(精神科)医療機関名

精神科入院継続中  
 (入院形態)  医保  応急  任意  その他  
 退院

退院時内訳 (口もとの病院への戻し  
 他病院への転院あり  
 (転院先病院名 )  
 自宅  死亡  その他 ( )  
 自己都合退院

【対応の概要 退院時は退院内訳】

26 転院 (1週間後)

27 その他特記事項  
 (システムの変更  
 等があることを  
 記す)

28 報告日

年 月 日 29 報告者氏名

夜間・休日 精神科合併症支援病院実施報告書

FAX宛先 大阪精神科病院事務課  
 072-251-6488

様式5

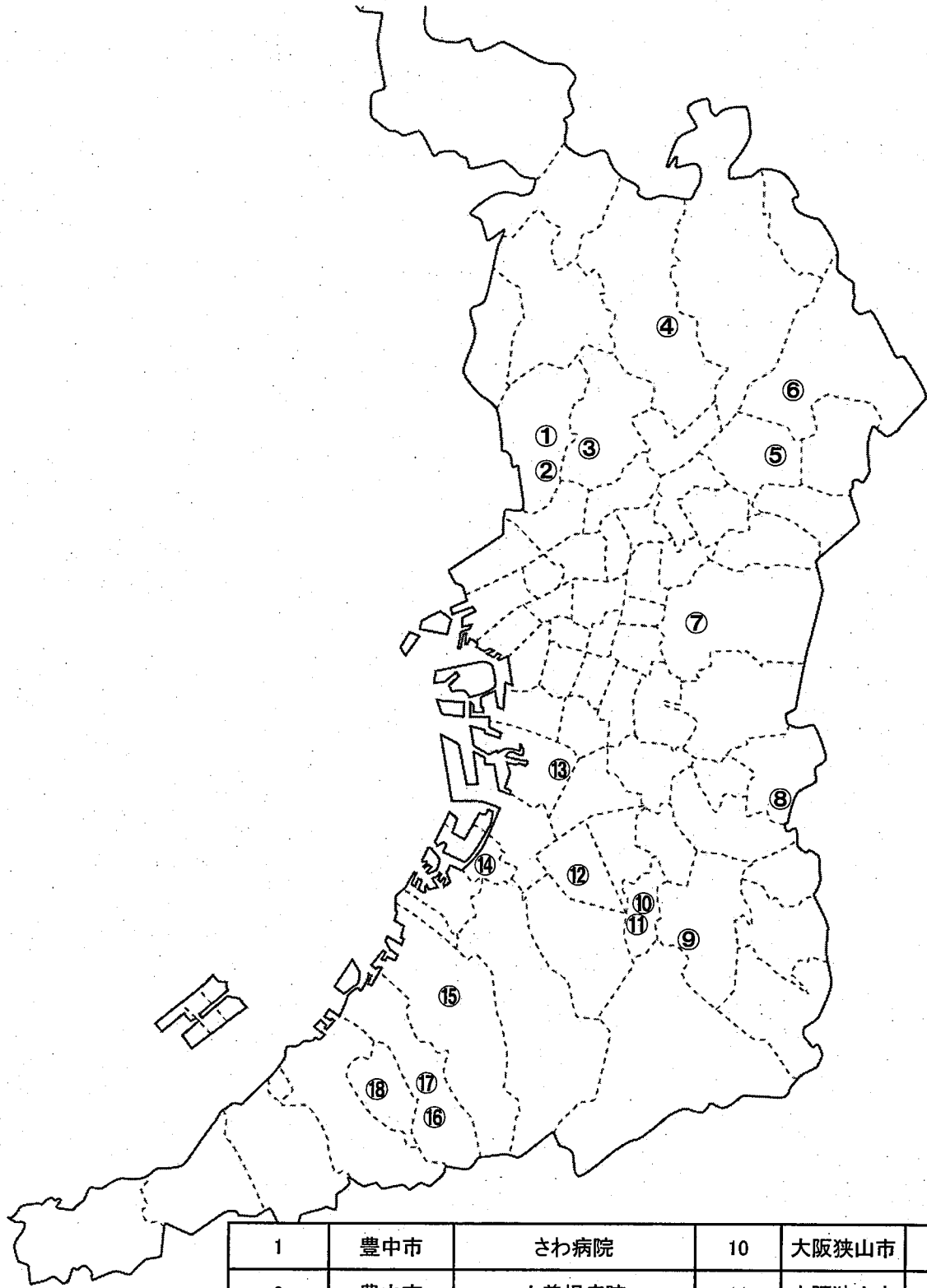
病院名

転院日 平成 年 月 日 時間 時 分 秒  
 システムの利用件数: 件

科目

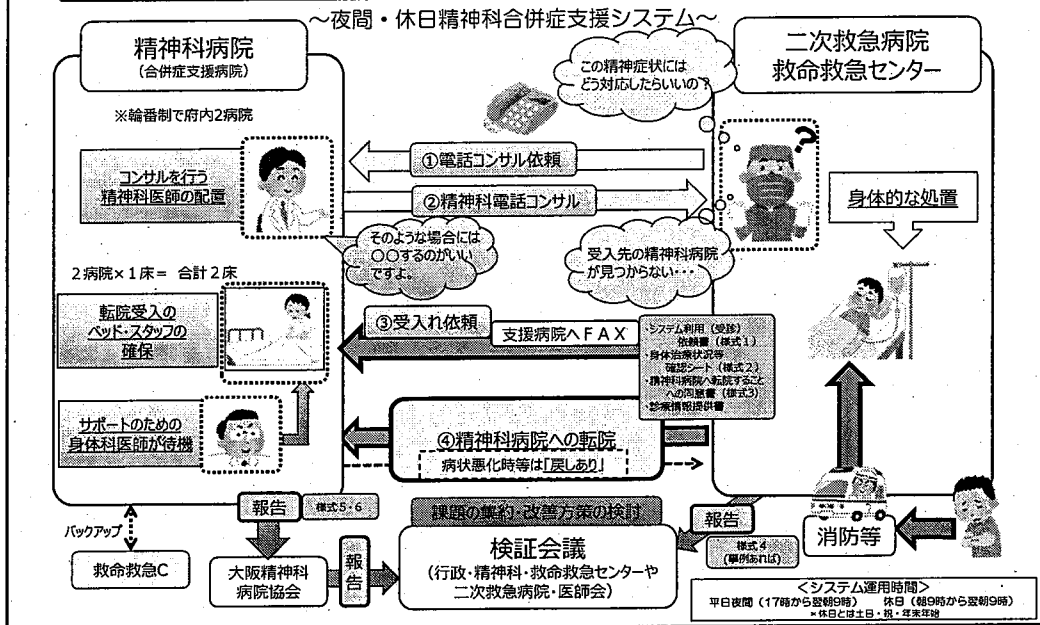
脚	夜間急診	所在地	患者性別	年齢	【救急搬送】 搬送入院依頼	【精神科搬送】 搬送入院の理由	搬送手段	搬送時間	搬送5-1
1		市・区	男		あり	可	あり	あり	搬送5-1
2		市・区	男		なし	可	あり	あり	搬送5-1
3		市・区	女		あり	可	あり	あり	搬送5-1
4		市・区	男		なし	可	あり	あり	搬送5-1
5		市・区	女		あり	可	あり	あり	搬送5-1

# 夜間・休日精神科合併症支援システム輪番病院配置図



1	豊中市	さわ病院	10	大阪狭山市	青葉丘病院
2	豊中市	小曽根病院	11	大阪狭山市	大阪さやま病院
3	吹田市	榎坂病院	12	堺市	阪南病院
4	茨木市	藍野花園病院	13	堺市	浅香山病院
5	寝屋川市	ねや川サナトリウム	14	高石市	浜寺病院
6	枚方市	東香里病院	15	岸和田市	久米田病院
7	東大阪市	小阪病院	16	貝塚市	水間病院
8	柏原市	国分病院	17	貝塚市	木島病院
9	富田林市	汐の宮温泉病院	18	熊取町	七山病院

## 新しい「精神科合併症の救急医療システム」イメージ図



## システムの概要

### システムの概要

- 1 精神科合併症患者を受け入れた二次救急病院や救命救急センター（以下「二次救急病院等」という。）が、精神科病院（合併症支援病院）から精神科領域の電話コンサルテーションを受けられる。
- 2 二次救急病院等で身体的な処置を終えた患者のうち、精神科治療が必要な患者を精神科病院（合併症支援病院）へつなぐ。

\*精神科合併症患者：精神疾患と身体疾患を併せ持つ患者

### システムの稼働時間

- 平日夜間（午後5時から翌朝9時まで）及び休日（土・日曜日、祝日、年始・年末）

### 輪番の精神科病院（合併症支援病院）数及びベッド数

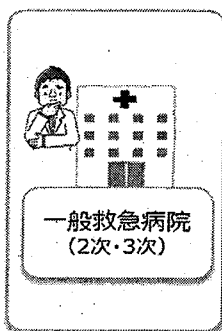
- 2病院、ベッド数2床（各病院1床ずつ）

## 精神科病院（合併症支援病院）が確保する体制

### 基本的な体制

- 精神科病院（合併症支援病院）は、二次救急病院等への電話コンサルテーション及び転院等を受け入れるための体制を確保し、併せて、身体科医師によるサポートも受けられる体制も確保。
- この身体科医師によるサポートは、『自院で身体科医師を雇用』もしくは『近隣の病院と連携し、二次救急病院等から患者を受け入れられる体制を確保すること』を基本とする。（身体科医師が常駐することが好ましいがオンコール対応も可。）

## 電話コンサルテーションを受ける際のアクセス方法



- 精神科合併症患者の受入れ
- 精神科領域の電話コンサルテーション
  - ✓ 二次救急病院等がナビダイヤルに電話
  - ✓ 案内された精神科病院（合併症支援病院）2病院のいずれかを二次救急病院等が選択し、電話コンサルテーションを受ける。

電話コンサルテーションにおける相談内容について特段の制限を設けませんが、その提案・助言に従うか否かについては、二次救急病院等の判断による。

電話コンサルテーションを受けた後に対診を行うことについては、本システムを検証する中で引き続き検討していく。

## 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく入院形態について

### 1 措置入院／緊急措置入院（法第29条／法第29条の2）

【対象】入院させなければ自傷他害のおそれのある精神障がい者

【要件等】精神保健指定医2名の診断の結果が一致した場合に都道府県知事が措置（緊急措置入院は、急速な入院の必要性があることが条件で、指定医の診察は1名で足りるが、入院期間は72時間以内に制限される）

### 2 医療保護入院（法第33条）

【対象】入院を必要とする精神障がい者で、自傷他害のおそれはないが、任意入院を行う状態にない者

【要件等】精神保健指定医（又は特定医師）の診察及び家族等の同意が必要（特定医師による診察の場合は12時間まで）

### 3 応急入院（法第33条の7）

【対象】入院を必要とする精神障がい者で、任意入院を行う状態になく、急速を要し、家族等の同意が得られない者

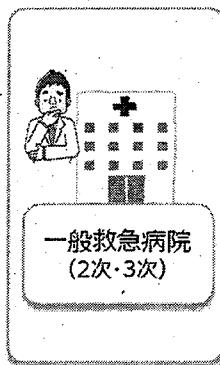
【要件等】精神保健指定医（又は特定医師）の診察が必要であり、入院期間は72時間以内に制限される。（特定医師による診察の場合は12時間まで）

### 4 任意入院（法第20条）

【対象】入院を必要とする精神障がい者で、入院について、本人の同意がある者

【要件等】精神保健指定医の診察は不要

## 電話コンサルテーションの結果、転院となった際の転院方法



➤ ナビダイヤルにより転院について十分に情報交換を行った後、二次救急病院等は次の書類を精神科病院（合併症支援病院）へファックス送信する。

- ✓ 『ファックス送信書（夜間・休日精神科合併症支援システム利用（受診）依頼書）』（様式1）
- ✓ 『身体治療状況等確認シート』（様式2）
- ✓ 『精神科病院へ転院することの同意書』（様式3）
- ✓ 『診療情報提供書』（各病院の様式）

家族がおらず本人の意識もなく同意書に署名ができない患者に対しては、応急入院で対応する場合もある。

### 身体疾患を治療した後、二次救急病院等から精神科病院（合併症支援病院）へ搬送する際の患者（状態）

酸素吸入器を外して少なくとも30分以上SpO<sub>2</sub>が正常に保たれており、概ね次の患者（状態）とする。

なお、身体症状の急変等により二次救急病院等へ（戻し）搬送する場合（依頼した担当医が不在になった場合においても病院として責任を持って対応）もある。

- リストカット後で縫合済み
- オーバードーズ後で意識はほぼ回復している（しばらく静脈確保のための点滴が必要な場合も含む。）
- 骨折をギブスにより固定済み
- 次の場合は、個別に判断・対応する
  - ・ 救急疾患は処置済で、その他に内臓疾患がある場合
  - ・ 救急疾患は処置済で、妊婦である場合 等

### システム開始後の事例蓄積

- 精神科病院（合併症支援病院）は電話コンサルテーション・転院等について報告書（様式5-1, 5-2, 6）を作成し、大阪精神科病院協会が取りまとめ大阪府へ提出することにより事例を蓄積する。
- 二次救急病院等は、『転院できなかった事例』や『電話コンサルテーションにおける問題事例』等について、報告書（様式4）を作成し、大阪府へファックス送信することにより事例を蓄積する。

## システム開始後の事例検証

- ▶ 蓄積した事例により本システムを検証するための検証会議を設置し、概ね2ヶ月ごとに検証作業を行い、その結果を関係機関において情報共有する。
- ▶ 検証会議のメンバーは、関係機関から推薦された新精神科救急医療体制検討会委員とし、代理出席も可とする。

## 関係機関

- ▶ 次の者は、本システムが円滑に稼働するため、協力するものとする。

【精神科病院】

大阪精神科病院協会

【二次救急病院等】

大阪府病院協会

大阪府私立病院協会

大阪府救急医療機関連絡協議会

【医師会】

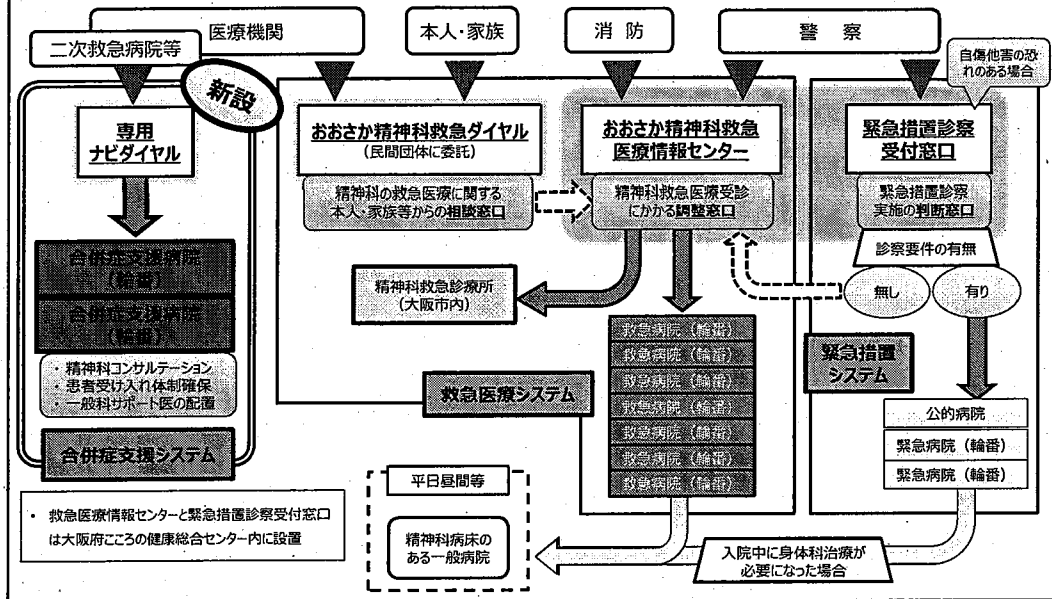
大阪府医師会

【行政】

大阪府・大阪市・堺市



## 大阪府の精神科救急医療システム



## 二次救急病院等への説明会における質疑応答

- Q：合併症支援病院へつなく患者は、リストカットやオーバードーズに限定するのか、それとも拡大していく方針か。
- A：リストカット等に限定する方針でないので、つなくことが可能な症状であるか否かなど合併症支援病院と電話コンサルテーションで十分に相談してほしい。今後については、検証会議で検討していく。
- Q：本システムと精神科救急システムの違いは？
- A：精神科救急システムは、概ね身体症状がなく救急対応が必要な精神症状がある患者が対象、本システムは精神科合併症患者が対象。
- Q：救命救急センターなので、リストカットの処置後の抜糸、ギブスの切除、軽度の身体症状により『再度の受け入れ』を行うことはできない。
- A：本システムでは『再度の受け入れ』が前提。しかし、抜糸やギブスの切除については合併症支援病院もしくは近隣の医療機関で実施できないかなど電話コンサルテーションで十分に相談してほしい。

## 二次救急病院等への説明会における質疑応答

Q：本システムの対象は、救急車で二次救急病院等に搬送された患者に限るのか、家族の自動車等で来院された救急患者は対象外か。

A：家族の自動車等で来院した救急患者も含む。

Q：合併症支援病院からの『再度の受け入れ』について、患者の状態が重篤で二次救急病院で対応できない状態の場合であっても、『再度の受け入れ』を求められるのか。

A：患者の状態により、救命救急センターへの搬送も検討すべき場合があると考える。

Q：二次救急病院等から合併症支援病院への搬送方法は。

A：特に定めていない。家族による搬送等、ケースバイケース。

## 二次救急病院等への説明会における質疑応答

Q：救急対応が終わり、一般病棟でせん妄などの精神症状がでた患者をこのシステムの対象と考えてよいか。

A：このシステムは夜間・休日における二次救急病院等の患者を対象としており、当該患者の事例については病病連携などで対応してほしい。

Q：精神科病院へのつなぎはなかなかスムーズに進まない。つなぎを行える患者の状態を二次救急病院等と精神科病院で合わせてほしい。

A：今後の検証会議で調整していく予定。